

第 1 学 年

令和 8 年度入学生（ 第 5 7 回生 ）

令和8年度入学生（第57回生）教育課程

教育内容	該当科目		単位数	時間数	第1学年		第2学年		第3学年		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野					10	165					
科学的思考の基盤・人間と生活	自然科学・人文科学・社会学	化学	1	15	●						
		生物学の基礎	1	15	●						
		数学統計の基礎	1	15			●				
		倫理学	1	15			●				
		情報科学	1	20	●						
	外国語	実践英語Ⅰ	1	15	●						
		実践英語Ⅱ	1	15			●				
		歯科英語	1	15			●				
コミュニケーション学	行動科学	1	20						●		
	心理学	1	20			●					
専門基礎分野					22	355					
人体の構造と機能	人体構造学	解剖学	2	30	●						
		組織・発生学	1	20		●					
	人体機能学（生理学）	1	20			●					
歯・口腔の構造と機能	生体物質・口腔の化学（生化学）		2	30	●	●					
	口腔構造学	口腔解剖学	2	30	●	●					
		歯牙解剖	1	20	●						
疾病の成り立ちと回復過程の促進	病理学・口腔病理学		2	30			●				
	薬理学・歯科薬理学		2	30			●				
	微生物学・口腔微生物学		2	30			●				
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学	口腔衛生	1	20	●						
		公衆歯科衛生・歯科衛生統計	2	30			●				
	衛生学・公衆衛生学		1	20	●						
	カリオロジー学		1	15						●	
	衛生行政・社会福祉		2	30			●				
専門分野					59	2125					
歯科衛生士概論	歯科衛生士概論		2	30	●	●					
臨床歯科医学	歯・歯髄疾患論	保存修復学	1	20		●					
		歯内療法学	1	20			●				
	歯周疾患論	歯周療法学Ⅰ	1	20			●				
		歯周療法学Ⅱ	1	15						●	
	咀嚼障害・咬合異常論	歯科補綴学	1	20			●				
		歯科矯正学	1	15			●				
	顎口腔疾患論	口腔外科学	1	15			●				
		全身管理学	1	15			●				
小児歯科学		1	20			●					
障がい者・高齢者歯科学		1	20			●					
予防処置論	口腔疾患予防処置法	Ⅰ	4	160	●	●					
		Ⅱ	2	80			●	●			
		Ⅲ	2	80					●	●	
歯科保健指導論	口腔保健学	保健指導法Ⅰ（含 栄養指導）	3	120	●	●					
		保健指導法Ⅱ	2	80			●	●			
		保健指導法Ⅲ（含 関連医学）	2	80					●	●	
		歯科衛生ケアプロセス	1	15			●				
歯科診療補助論	歯科診療補助学	Ⅰ	3	120	●	●					
		Ⅱ（含 歯科材料、歯科放射線学、介護技術）	3	120			●	●			
		Ⅲ（含看護学）	2	80					●	●	
		感染予防学	1	15			●				
		医学一般・臨床検査法	1	20			●	●			
臨地・臨床実習	臨地・臨床実習Ⅰ		2	90	●	●					
	臨地・臨床実習Ⅱ		8	360			●	●			
	臨地・臨床実習Ⅲ		11	495					●	●	
必修隣接分野					12	239					
総合科目（健康と教養）	看護学		1	15		●					
	口腔リハビリテーションⅠ		1	15				●			
	口腔リハビリテーションⅡ		2	30					●	●	
	病院管理学（社会保険・請求事務・歯科マネジメント）		1	15						●	
	総合歯学		5	104						●	
研究	国際コミュニケーション		1	30			●				
	研究		1	30			●	●			
総計			103	2884	434	516	525	475	610	324	
					950		1000		934		

基礎分野

化学

生物学の基礎

情報科学

実践英語 I

コミュニケーション学～心理学～

専門基礎分野

解剖学

組織・発生学

人体機能学（生理学）

生体物質・口腔の化学（生化学）

口腔解剖学

歯牙解剖

病理学・口腔病理学

薬理学・歯科薬理学

微生物学・口腔微生物学

口腔衛生

公衆歯科衛生・歯科衛生統計

衛生学・公衆衛生学

専門分野

歯科衛生士概論

保存修復学

口腔疾患予防処置法 I ・保健指導法 I （含栄養指導）・歯科診療補助法 I

必修隣接分野

看護学

化学

担 当 者	黒石 智誠 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 口腔微生物・口腔免疫学分野 講師		
単 位	時間数	履修時期	
1	15	1年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「化学」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	必要に応じて紹介する。		
学習目標	様々な専門科目を学習する上での基礎となる「化学」を修得する。 中学～高校で学習した「化学」の総復習。		
学習方略	スライドを中心に講義し、必要に応じて資料を配付する。 随時、小テストを行い、理解度を確認する。		
学習評価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>原子、分子</u>	黒石 智誠	プロジェクター
2	<u>原子量、分子量、物質質量（モル）</u>	黒石 智誠	プロジェクター
3	<u>原子の電子配置、イオン、化学結合</u>	黒石 智誠	プロジェクター
4	<u>水溶液、親水性、疎水性、コロイド</u>	黒石 智誠	プロジェクター
5	<u>溶液の濃度</u>	黒石 智誠	プロジェクター
6	<u>酸、アルカリ</u>	黒石 智誠	プロジェクター
7	<u>酸化、還元、金属のイオン化傾向</u>	黒石 智誠	プロジェクター
8	<u>有機化合物</u>	黒石 智誠	プロジェクター
	<u>試験</u>	黒石 智誠	

生物学の基礎

担 当 者	村上 天悠 東北大学大学院生命科学研究科 生態発生適応科学専攻 個体ダイナミクス講座 動物発生分野 大学院生	
単 位	時間数	履修時期
1	15	1年前期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「生物学」 (医歯薬出版)	
参 考 図 書	和田勝 著：「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」	
学習目標	生物学の基礎知識を習得するとともに、科学的思考を身につける。	
学習方略	資料を配付し、スライドショーを用いて解説を行う。	
学習評価	筆記試験を実施し、講義内容の理解度を問う。	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>講義：「生命」とは何か</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
2	<u>講義：生命の構造① 細胞</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
3	<u>講義：生命の構造② 細胞から個体へ</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
4	<u>講義：生命の連続① 生殖、遺伝</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
5	<u>講義：生命の連続② 発生</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
6	<u>講義：生命の活動① 刺激の受容・伝達</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
7	<u>講義：生命の活動② 刺激への応答</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
	<u>試験</u>	竹田 山原楽	
8	<u>試験解説</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター

情報科学

担 当 者	萩原 潤 宮城大学 看護学群 兼 基盤教育群 准教授	
単 位	時間数	履修時期
1	20	1年前期
教 科 書	必要に応じて資料を配付する	
参 考 図 書	門脇香奈子 著:「今すぐ使えるかんたんぜったいできます! ワード&エクセル超入門」(技術評論社)	
学習目標	<p>本講義は日常生活・学生生活において PC や、ネットワークを利用する上で必要なりテラシーを学習する。PC を使って情報を活用し、わかりやすく伝える方法を学ぶ。レポート作成やプレゼン演習を通して今後の学生生活に必要な PC スキルの上達を目指す。具体的な内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) キーボードの操作に慣れ、文字を的確に入力できる。 2) ワードを活用して、レポートの作文技能を習得し、図や表が入った文章を作成できる。 3) エクセルで表を作成し、簡単な数式を設定して、結果をグラフ化できる。 4) インターネットを活用し必要な情報を収集できる。 5) パワーポイントを用いて自らの考えを効果的に表現できる。 	
学習方略	PC を使用した演習を中心とする	
学習評価	講義中に指定する課題と演習への取り組みの態度により総合的に評価する	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>PCの基本操作</u> ウィンドウズの基本操作について学ぶ。 <u>タイプ練習</u> タッチタイプ練習により、キーボード入力に慣れる。	萩原 潤	PC
2	<u>ワード基礎</u> ワードの基本操作を学び、簡単な文書を作成する。	萩原 潤	PC
3	<u>ワード応用</u> コピーや貼り付け、文字の装飾などワードの機能を用いて文書を作成する。	萩原 潤	PC

4	<u>エクセルの基礎</u> データ入力、式の作成、簡単なグラフ作成を通してエクセルの基本操作を学ぶ。	萩原 潤	PC
5	<u>エクセルの応用</u> 関数を利用したデータの集計を行う。 データの種類に合った見やすいグラフを作成する。	萩原 潤	PC
6	<u>エクセルの演習</u> エクセルの機能を用いて、実際に作業を行い、操作方法を身につける。	萩原 潤	PC
7	<u>パワーポイント</u> 図やアニメーションを入れた、見やすいスライドを作成する。	萩原 潤	PC
8	<u>情報リテラシー・ワード演習</u> コンピュータやネットワークを利用するにあたって必要なルールやマナー、そしてセキュリティに関する講義を行う。 インターネットの検索機能とワードの機能を用いて演習課題に取り組む。		
9	<u>パワーポイント演習</u> これまで得た技術を用いてパワーポイントを用いた演習課題に取り組む。		
10	<u>プレゼンテーション演習</u> 前回の演習課題をもとにプレゼンテーションの演習を行う。他者の発表を聞くことで、自身の発表時に必要なことを考える機会とする。	萩原 潤	PC
	<u>試験・レポート</u>	萩原 潤	

実践英語 I

担 当 者	Marie-J. Brassard		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	1 5	1 年 前 期	
教 科 書	Material based on Text		
参 考 図 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯科英語」 (医歯薬出版)		
学 習 目 標	English subject Dental English, conversation, and structures		
学 習 方 略	Lectures, hearing, written and oral practice		
学 習 評 価	Exam 100% Oral presentation : self-introduction 1~2 m speech		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<p><u>U.1 Going Abroad: Making a Speech</u></p> <p>Grammar points</p> <p>1. The order of sentences</p> <p>2. 'Wh' questions</p> <p><u>Dialogue practice:</u> vocabulary, structures and</p> <p>Speech making examples</p> <p>Basics of Speech Writing: Introduction, body and conclusion</p> <p><u>Hearing comprehension text:</u> Example of speech</p> <p>Vocabulary & pronunciation. Questions</p>	Marie-J. Brassard	

2	<p>U.2 Dialog. 1 <u>Making an Appointment</u></p> <p>Vocabulary Building</p> <p>G Pt1. Verb to Be – Q & A</p> <p>G Pt2. Present tense:</p> <p>Expressing habit, used with</p> <p>Time expressions-Writing exercises</p> <p>Oral practice, pronunciation practice</p> <p>Dialog. 2 <u>At the Dentist's Office</u></p> <p>Vocabulary building</p> <p>Oral practice and pronunciation practice</p> <p>Reading/Hearing comprehension:</p> <p>Prevention is the Best Cure</p>	Marie-J. Brassard	
3	<p>U.3 Dialogue 1 <u>Needing Treatments for a Root Canal</u></p> <p>Vocabulary building</p> <p>G Pt1: Will: indicating future Q&A</p> <p>G Pt2: When conjunction</p> <p>Writing exercises</p> <p>Dialogue 2 <u>Checking up on a Patient</u></p> <p>New vocabulary</p> <p>Oral practice, and making new dialogues</p> <p>Reading/Hearing comprehension +Q&A</p>	Marie-J. Brassard	
4	<p>U.4 Dialogue 1 <u>Request for Medicine</u></p> <p>New vocabulary</p> <p>G Pt1: Be + going to + inf. verb/Q&A</p> <p>Writing ex. Oral practice and pronunciation</p> <p>Dialogue 2 <u>A Conversation with the Dental Hygienist</u></p> <p>New vocabulary</p> <p>G Pt2: Have + p.p. V had + pp structures</p>	Marie-J. Brassard	

	<p>Writing ex, oral practice</p> <p>Reading/Hearing comprehension Q&A</p>		
5	<p><u>Writing a speech draft:</u></p> <p>Writing an outline. What do you want to say?</p> <p>Introducing your topic, developing ideas</p> <p>And concluding your speech</p>	Marie-J. Brassard	
6	<p>U.5 Dialogue 1 <u>Describing Symptoms</u></p> <p>New vocabulary</p> <p>G Pt1: Verb + adjective / location</p> <p>Writing exercises and oral practice</p> <p>Dialogue 2 <u>The Diagnosis</u></p> <p>New vocabulary</p> <p>Making new dialogues oral practice and pronunciation</p> <p>Reading/hearing comprehension + Q&A</p>	Marie-J. Brassard	
7	<p><u>Pronunciation practice: consonants and vowels</u></p> <p>Listening Challenge 1 & 2</p> <p><u>Practicing your speech:</u></p> <p>stance, gestures, voice, eye contact</p> <p>Practicing your speech in small groups plus</p> <p>Group evaluations for improvement</p>	Marie-J. Brassard	

8	<u>Speech presentation in class</u>	Marie-J. Brassard	
	<u>Exam 100%</u>	Marie-J. Brassard	

コミュニケーション学～心理学～

担 当 者	粟木 一博 仙台大学 教授	
単 位	時間数	履修時期
1	20	1年後期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「心理学」 (医歯薬出版) その必要に応じて資料を配付する。	
参 考 図 書	参考になる書籍、文献等は講義中に紹介する。	
学習目標	授業で紹介される、いろいろな種類の人の行動について、どのような法則性があるのかについて理解を深めるとともに、それを基礎として、自分自身をはじめ、周りにいる人々の行動について、さらに自分と周りの人々との関係について客観的分析的に考える態度を身につける。	
学習方略	上記の目標を達成するために具体的な事例を紹介する。それらを自分自身の体験と照らし合わせながら学習する。	
学習評価	授業内に実施される小レポートをはじめ、質問、発表など授業に対する積極的な取り組みを高く評価する。	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>心理学とは</u> ・ 心理学の歴史と現代の心理学 ・ 心理学の研究法	粟木 一博	プロジェクター
2	<u>感覚と知覚</u> ・ 感覚、視覚、聴覚 ・ 注意の心理学	粟木 一博	プロジェクター
3	<u>学習</u> ・ 生得的な行動と単純な学習性の行動 ・ 様々な学習	粟木 一博	プロジェクター
4	<u>認知（1）</u> ・ 記憶のシステムと働き ・ 言語と思考	粟木 一博	プロジェクター
5	<u>認知（2）</u> ・ 認知と注意 ・ 日常生活の中の認知	粟木 一博	プロジェクター

6	<u>感情</u> ・感情心理学の理論 ・感情と身体・社会	栗木 一博	プロジェクター
7	<u>動機づけとは（１）</u> ・動機づけの仕組み ・社会的動機づけ	栗木 一博	プロジェクター
8	<u>動機づけとは（２）</u> ・「認知」「欲求」「情動」と動機づけ ・内発的動機づけと外発的動機づけ	栗木 一博	プロジェクター
9	<u>発達</u> ・認知・思考の発達 ・対人関係・社会性の発達	栗木 一博	プロジェクター
10	<u>パーソナリティー</u> ・パーソナリティーの様々なとらえ方 ・パーソナリティーの測定	栗木 一博	プロジェクター
	<u>レポート課題</u>	栗木 一博	

解剖学

担 当 者	畠山 雄次 東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 口腔器官解剖学分野 教授		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
2	30	1年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と 機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」（医歯薬出版）		
学 習 目 標	人体の肉眼構造の概要を理解する。		
学 習 方 略	講義		
学 習 評 価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>解剖学総論</u> 解剖学の意義、解剖学概説	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
2	<u>骨格系 I</u> 骨の概説、頭蓋骨（概説）	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
3	<u>骨格系 II</u> 体幹骨、上肢骨、下肢骨	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
4	<u>筋系</u> 筋の概説、各部位の主な筋	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
5	<u>脈管系 I</u> 脈管系の概説 心臓	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
6	<u>脈管系 II</u> 動脈系・静脈系	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント

7	<u>脈管系 III</u> 胎児の循環系 リンパ系：リンパ・扁桃・胸腺・脾臓	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
8	<u>神経系 I</u> 中枢神経系：脳・脊髄	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
9	<u>神経系 II</u> 末梢神経系：脳神経・脊髄神経	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
10	<u>神経系 III</u> 末梢神経系：自律神経	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
11	<u>内臓学 I</u> 概説 消化器系1：口腔・咽頭・食道・嚥下	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
12	<u>内臓学 II</u> 消化器系2：胃・小腸・大腸・肛門、肝臓・胆嚢・ 膵臓・腹膜後器官	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
13	<u>内臓学 III</u> 呼吸器系：鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、肺 泌尿器系：腎臓・尿管・膀胱・尿道	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
14	<u>内臓学 IV</u> 生殖器系：男・女生殖器 内分泌系：臓器の概説	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
15	<u>感覚器</u> 目・耳・鼻・舌・皮膚	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
	<u>試験</u>	畠山 雄次	

組織・発生学

担 当 者	細矢 明宏 東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 顎口腔組織発生学分野 教授	
単 位	時 間 数	履 修 時 期
1	20	1年後期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」、歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と 機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」（医歯薬出版）	
参 考 図 書		
学 習 目 標	歯科臨床の基礎を理解するために、口腔を含む人体諸器官の組織構造を習得 する。また、個体発生の仕組みと人体諸器官の発生に関する知識を習得する。	
学 習 方 略	講義	
学 習 評 価	講義終了後に試験を行い、出席状況、毎回実施する小テストから総合的に評 価する。	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>細胞</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
2	<u>上皮組織</u> <u>支持組織</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
3	<u>筋組織</u> <u>神経組織</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
4	<u>個体発生</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
5	<u>顔面と口腔の発生</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
6	<u>歯と歯周組織の発生</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター

7	<u>エナメル質</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
8	<u>象牙質・歯髄複合体</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
9	<u>セメント質</u> <u>歯根膜</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
10	<u>歯槽骨</u> <u>歯肉</u> <u>口腔粘膜</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	細矢 明宏	

人体機能学（生理学）

担 当 者	安藤 恵子 東北大学大学院歯学研究科 病態マネジメント歯学講座 口腔生理学分野 准教授	
単 位	時間数	履修時期
1	20	1年後期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」、歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と 機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」（医歯薬出版）	
参 考 図 書	岩田幸一・井上富雄・船橋誠・加藤隆史 編：「基礎歯科生理学7版」（医歯薬出版）	
学習目標	人体の機能（しくみ）の基礎的事項を学び、理解する。さらに、歯科衛生士として必要な歯および口腔の機能に関する知識を修得する。	
学習方略	講義（スライドやプリント配付）	
学習評価	筆記試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	「解剖学で学ぶこと・生理学で学ぶこと」 生理学とは 「細胞と組織」 細胞の構造、細胞内小器官と基本的機能	安藤 恵子	プロジェクター
2	「循環」 体液・血液 体液の種類、量、調節、血液成分、血液の機能 血液凝固系と線溶系、血液型と輸血 心臓 体循環・肺循環、心臓の構造とはたらき、心拍、刺激伝導系、活動電位、心電図、循環中枢 血管の機能 種類、血圧、圧受容、血液量と血圧調節、リンパ循環、循環ショック	安藤 恵子	プロジェクター
3	「呼吸」 呼吸器の構成、胸郭の構造と換気の仕組み、肺気量と換気量、ガス交換、O ₂ とCO ₂ の運搬、呼吸調節、呼吸中枢、酸塩基平衡	安藤 恵子	プロジェクター

4	<u>「消化・吸収」</u> 消化管の構造、消化と吸収のしくみ、口腔、食道、胃の機能、小腸・大腸の機能、消化管運動、消化管ホルモン	安藤 恵子	プロジェクター
5	<u>「神経系」</u> 神経系の概要 神経系の構成 細胞の種類とはたらき、構造、神経系の機能(静止膜電位、電気緊張性電位、活動電位、伝導、伝達) <u>「中枢神経系」</u> 大脳～脊髄の働き、高次機能、脳波 脳脊髄膜・脳脊髄液の構造とはたらき <u>「末梢神経系」</u> 体性神経系、自律神経系の構造と機能	安藤 恵子	プロジェクター
6	<u>「筋と運動」</u> 筋(骨格筋、心筋 平滑筋)の構造と機能・収縮様式 筋紡錘の働き、運動ニューロン、反射と随意運動、姿勢調節、筋電図 <u>「感覚」</u> 感覚の基本的性質、特殊感覚器(視覚・聴覚・平衡感覚)の構造と機能、体性・内臓感覚、痛覚	安藤 恵子	プロジェクター
7	<u>「排泄」</u> 排便、排尿、皮膚からの発汗 尿の性状、腎臓の構造と尿生成のしくみ、酸塩基平衡 <u>「体温」</u> 熱の産生・放散、体温調節中枢、体温調節	安藤 恵子	プロジェクター
8	<u>「内分泌」</u> 内分泌器官の構造、下垂体、視床下部、膵臓、副腎、性腺、その他のホルモン、恒常性の維持、ホルモン調節 血中カルシウム濃度の調節、歯とホルモン <u>「生殖」</u> 性周期とホルモン、分娩と乳汁分泌	安藤 恵子	プロジェクター
9	<u>「歯と口腔の感覚」</u> 歯の感覚、歯根膜感覚、歯髄感覚、口腔粘膜の感覚 <u>「味覚と嗅覚」</u> 味物質、基本味、味覚の役割、神経機構、味覚障害 嗅覚の役割、特性、神経機構	安藤 恵子	プロジェクター

10	<p><u>「咬合と咀嚼・吸啜」</u> 下顎位、下顎の運動、反射、摂食行動、咀嚼能力、吸啜</p> <p><u>「発声・嚥下・嘔吐」</u> 言語野、声の生成、構音障害、口腔の病態と発音 嚥下の概要、食塊の動き、嚥下の神経機構 嘔吐の誘発機序、嘔吐の神経機構</p> <p><u>「唾液」</u> 唾液腺、唾液の分泌調節、唾液の作用 唾液の性状・成分、唾液と疾患</p>	安藤 恵子	プロジェクター
	<u>試験</u>	安藤 恵子	

生体物質・口腔の化学（生化学）

担 当 者	高橋 信博 東北大学大学院歯学研究科 特任教授 東北大学 総長特別補佐 土門 ひと美 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 口腔生化学分野 非常勤講師 佐々木 裕子 仙台白百合大学 人間科学部 健康栄養学科 教授	
単 位	時 間 数	履 修 時 期
2	30	1年前期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能2 口腔生化学」「人体の構造と機能3 栄養学」「歯科予防処置論・歯科保健指 導論 第2版」（医歯薬出版）	
参 考 図 書	菊地吾郎、他 編：「一般医化学」（南山堂） 早川太郎、他 編：「口腔生化学」（医歯薬出版） 織田正豊、他 編：「歯科用語小辞典」（クインテッセンス）	
学 習 目 標	歯科衛生士として、患者に口腔衛生指導・栄養管理指導する上で必要な生化学的知識、並びに齲蝕・歯周病等の病因・予防を理解するための基礎として必要な口腔生化学的知識を身につける。	
学 習 方 略	講義および復習	
学 習 評 価	出席および試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>栄養と代謝ー生化学で学ぶこと・栄養学で学ぶことー</u> イントロダクション、生化学と栄養学、歯科衛生士が生化学・栄養学を学ぶ意義	高橋 信博	プロジェクター
2	<u>生体の構成要素1</u> 細胞の役割、生体における水	土門 ひと美	プロジェクター
3	<u>生体の構成要素2</u> 生体構成成分と栄養素：糖質、脂質、タンパク質、ミネラル、ビタミン	土門 ひと美	プロジェクター
4	<u>生体における化学反応</u> 消化と吸収、酸素の運搬と二酸化炭素の排出、酵素	高橋 信博	プロジェクター

5	<u>糖質の代謝</u> エネルギー代謝の全体像、解糖、グリコーゲンの合成と分解、クエン酸回路、電子伝達系、糖質の代謝によって得られるエネルギー量	高橋 信博	プロジェクター
6	<u>脂質の代謝</u> β 酸化、脂肪の合成、脂質の代謝によって得られるエネルギー量	高橋 信博	プロジェクター
7	<u>タンパク質とアミノ酸の代謝</u> タンパク質の加水分解、アミノ酸の代謝分解、タンパク質の合成	高橋 信博	プロジェクター
8	<u>生体における恒常性の維持</u> 恒常性（ホメオスタシス）、ホルモンと自律神経系	高橋 信博	プロジェクター
9	<u>歯と歯周組織の生化学</u> 結合組織（コラーゲン、プロテオグリカンなど）、歯（組成、無機成分、有機成分など）	土門 ひと美	プロジェクター
10	<u>硬組織の生化学</u> 血清中のカルシウムとリン酸、石灰化の仕組み、骨の生成と吸収、歯の脱灰と再石灰化	土門 ひと美	プロジェクター
11	<u>プラークと唾液の生化学</u> プラークの生物活性（齲蝕発症機構・歯周疾患発症機構・口臭発症機構）、唾液（無機質、有機質など）	土門 ひと美	プロジェクター
12	<u>健康と栄養</u> 日本人の食事摂取基準・食生活指針 特定保健用食品・特別用途食品、食事バランスガイド	佐々木 裕子	プロジェクター
13	<u>ライフステージごとの食生活指導</u> 妊娠期、乳幼児期、幼児期、学童期、成人期 高齢期の食生活指導のポイント	佐々木 裕子	プロジェクター
14	<u>病態に関わる食事と食品</u> やせと肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症、慢性腎臓病、などの生活習慣と口腔機能の関連	佐々木 裕子	プロジェクター
15	<u>栄養ケア・マネジメント</u> 栄養アセスメント、栄養ケア計画 咀嚼・嚥下機能に関するモニタリングと栄養評価	佐々木 裕子	プロジェクター
	<u>試験</u>	高橋 信博	

口腔解剖学

担 当 者	畠山 雄次 東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 口腔器官解剖学分野 教授	
単 位	時 間 数	履 修 時 期
2	30	1年前・後期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」（医歯薬出版）	
参 考 図 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」（医歯薬出版）	
学 習 目 標	頭頸部の肉眼構造について基礎知識を説明できる。	
学 習 方 略	主に教科書の内容に従って講義を進める。	
学 習 評 価	筆記試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>総論</u> 口腔付近の解剖学総論	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
2	<u>口腔とは</u> 口腔周囲の基本構造、口腔前庭（口唇、頬、歯肉）、固有口腔（口蓋、口腔底、舌）	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
3	<u>口腔を構成する骨①</u> 口腔を構成する骨の概要（頭蓋および顔面を構成する骨の概略）	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
4	<u>口腔を構成する骨②</u> 頭蓋骨（頭蓋を構成する各骨の詳細、頭蓋の前面・上面・後面・側面）	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
5	<u>口腔を構成する骨③</u> 頭蓋骨（頭蓋を構成する各骨の詳細、頭蓋の下面・内面）	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント

6	<u>口腔を構成する骨④</u> 口腔を構成する骨（口腔を構成する各骨の詳細、 上顎骨・口蓋骨）	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
7	<u>口腔を構成する骨⑤</u> 口腔を構成する骨（口腔を構成する各骨の詳細、 下顎骨・舌骨）、口腔に関連する機能の概略	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
8	<u>頭部の結合・関節</u> 関節総論、頭部の結合・関節の詳細、 顎関節の構造および機能	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
9	<u>頭頸部の筋と作用①</u> 筋の概説、頭頸部の筋（顔面筋（表情筋）、咀嚼筋①）、 頭頸部の筋の作用	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
10	<u>頭頸部の筋と作用②</u> 頭頸部の筋（咀嚼筋②、舌筋、頸部の筋、顎下三角と オトガイ下三角、翼突下顎隙と翼突下顎縫線）	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
11	<u>口腔付近に分布する脈管系①</u> 脈管系総論（頭頸部に分布する動脈系・静脈系）	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
12	<u>口腔付近に分布する脈管系②</u> 口腔付近に分布する脈管系（動脈系、静脈系、リンパ系）	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
13	<u>神経系①</u> 神経系総論、頭頸部の神経系	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
14	<u>神経系②</u> 頭頸部の神経系とその支配	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
15	<u>唾液腺、咽頭、喉頭</u>	畠山 雄次	プロジェクター 教科書 プリント
	<u>試験</u>	畠山 雄次	

歯牙解剖

担 当 者	※江草先生依頼中		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	2 0	1 年 前 期	
教 科 書			
参 考 図 書			
学 習 目 標			
学 習 方 略			
学 習 評 価			

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1			
2			
3			
4			
5			
6			

7			
8			
9			
10			

病理学・口腔病理学

担 当 者	※佐々木学院長依頼中		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
2	3 0	1 年 後 期	
教 科 書			
参 考 図 書			
学 習 目 標			
学 習 方 略			
学 習 評 価			

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

10			
11			
12			
13			
14			
15			

薬理学・歯科薬理学

担 当 者	中村 卓史 東北大学大学院歯学研究科 病態マネジメント歯学講座 歯科薬理学分野 准教授	
単 位	時 間 数	履 修 時 期
2	30	1年後期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監修：歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学」（医歯薬出版）	
参 考 図 書		
学 習 目 標	薬物がどのように生体に対して作用し、薬物治療が成り立っているのかを理解し、代表的な薬物に対して作用機序と薬理作用などを説明できる。	
学 習 方 略	講義および確認小テストを行うので復習をすること。薬理学では、正常および病態を理解することも重要。生化学・生理学の知識を修得していると薬理学的理解が深まる。	
学 習 評 価	小テストと筆記試験で総合的に評価する。	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>総論Ⅰ（医療と薬物）</u> ・ 薬物療法の種類 ・ 薬理作用の様式 ・ 薬理作用の基本形式 ・ 薬理作用の分類 ・ 用量反応関係と薬用量の用語 ・ 薬理作用の機序 ・ 薬理の生体膜通過様式と通過に影響する因子	中村 卓史	プロジェクター
2	<u>総論Ⅱ（身体と薬物①）</u> ・ 薬物動態（吸収・分布・代謝・排泄・パラメーター）	中村 卓史	プロジェクター
3	<u>総論Ⅲ（身体と薬物②）</u> ・ 薬物の適用方法 ・ 薬理作用に影響を与える因子 （薬物の用量と作用・生体の感受性）	中村 卓史	プロジェクター

4	<u>総論Ⅳ（身体と薬物③）</u> ・薬物の連用（蓄積・耐性・依存） ・薬物の併用による相互作用（協力作用・拮抗作用） ・薬物の副作用・有害作用	中村 卓史	プロジェクター
5	<u>総論Ⅴ（医薬品を適用する際の注意）</u> ・ライフステージと薬物 （小児・高齢者・妊婦・有病者への薬物投与） ・服薬指導	中村 卓史	プロジェクター
6	<u>総論Ⅴ（薬物の取り扱い）</u> ・剤型、処方せん、保存方法 <u>総論Ⅵ（薬物と法律・薬物と医薬品）</u> ・薬機法、日本薬局方、毒物・劇物、 ・取締法（麻薬・向精神薬・覚醒剤、大麻）	中村 卓史	プロジェクター
7	<u>ビタミン・ホルモン</u> ・ビタミンの種類と欠乏症 ・ホルモン製剤	中村 卓史	プロジェクター
8	<u>末梢神経系に作用する薬物</u> ・神経伝達物質 ・自律神経系作用薬 ・骨格筋弛緩薬	中村 卓史	プロジェクター
9	<u>中枢神経系に作用する薬物</u> ・全身麻酔薬 ・催眠薬 ・向精神薬 （抗精神病薬・抗不安薬・抗うつ薬・抗躁薬） ・抗けいれん薬（抗てんかん薬） ・抗パーキンソン病薬 ・中枢神経興奮薬 <u>循環器系作用薬</u> <u>腎臓に作用する薬物</u>	中村 卓史	プロジェクター
10	<u>呼吸器系に作用する薬物</u> <u>消化器系に作用する薬物</u> <u>血液に作用する薬物</u> ・止血薬（局所性止血薬、全身性止血薬） ・抗血栓薬（抗凝固薬・抗血小板薬） ・抗貧血薬 <u>免疫と薬物</u> <u>悪性腫瘍と薬物</u> <u>代謝性疾患治療薬</u>	中村 卓史	プロジェクター

11	<u>炎症と薬物</u> ・ステロイド性抗炎症薬 ・非ステロイド性抗炎症薬 ・抗ヒスタミン薬痛みと薬物 <u>痛みと薬物</u> ・鎮痛薬(麻薬性鎮痛薬・非麻薬性鎮痛薬・解熱鎮痛薬)	中村 卓史	プロジェクター
12	<u>局所麻酔薬</u> ・局所麻酔薬・血管収縮役の添加 抗感染症薬	中村 卓史	プロジェクター
13	<u>消毒に使用する薬物</u> <u>歯科用薬物 I</u> ・う蝕予防薬 ・歯内療法薬	中村 卓史	プロジェクター
14	<u>歯科用薬物 II</u> ・歯周疾患治療薬 ・顎口腔粘膜と薬物	中村 卓史	プロジェクター
	<u>試験</u>	中村 卓史	プロジェクター
15	<u>試験解説・まとめ</u>	中村 卓史	プロジェクター

微生物学・口腔微生物学

担 当 者	黒石 智誠 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 口腔微生物・免疫学分野 講師		
単 位	時間数	履修時期	
2	30	1年後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	必要に応じて紹介する。		
学 習 目 標	微生物の生態、微生物に対する宿主の免疫応答、病原微生物によって引き起こされる感染症を理解する。		
学 習 方 略	教科書を基にしたスライドを中心に講義し、必要に応じて資料を配付する。随時、小テストを行い、理解度を確認する。		
学 習 評 価	期末筆記試験に小テストの成績も加味し、総合的に評価する。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>I. 微生物学</u> 微生物の概要 感染	黒石 智誠	プロジェクター
2	<u>I. 微生物学</u> 微生物学総論	黒石 智誠	プロジェクター
3	<u>I. 微生物学</u> 微生物の培養、観察と検査 化学療法	黒石 智誠	プロジェクター
4	<u>I. 微生物学</u> 消毒と滅菌	黒石 智誠	プロジェクター
5	<u>II. 免疫学</u> 免疫 (1)	黒石 智誠	プロジェクター
6	<u>II. 免疫学</u> 免疫 (2)	黒石 智誠	プロジェクター
7	<u>II. 免疫学</u> アレルギー 免疫に関連する疾患	黒石 智誠	プロジェクター

8	<u>Ⅲ. 口腔微生物学</u> 口腔環境と常在微生物	黒石 智誠	プロジェクター
9	<u>Ⅲ. 口腔微生物学</u> バイオフィルムとしてのプラーク（歯垢）	黒石 智誠	プロジェクター
10	<u>Ⅲ. 口腔微生物学</u> う蝕の細菌学	黒石 智誠	プロジェクター
11	<u>Ⅲ. 口腔微生物学</u> 歯周病の細菌学 その他の口腔感染症	黒石 智誠	プロジェクター
12	<u>Ⅳ. 病原微生物学</u> 主な病原細菌（1）	黒石 智誠	プロジェクター
13	<u>Ⅳ. 病原微生物学</u> 主な病原細菌（2）	黒石 智誠	プロジェクター
14	<u>Ⅳ. 病原微生物学</u> 歯科に関連するウイルスとウイルス感染症（1）	黒石 智誠	プロジェクター
15	<u>Ⅳ. 病原微生物学</u> 歯科に関連するウイルスとウイルス感染症（2） 歯科に関連する真菌 口腔領域の原虫 プリオン	黒石 智誠	プロジェクター
	<u>試験</u>	黒石 智誠	

口腔衛生

担 当 者	小原 由紀 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	20	1 年 前 期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」（医歯薬出版）		
参 考 図 書			
学 習 目 標	口腔の健康についての理解を深め、集団における口腔疾患予防能力、地域集団に対する疾病の予防能力を高めるために口腔保健に関する専門知識を習得すること。		
学 習 方 略	講義		
学 習 評 価	講義終了後に試験を行い、出席状況も併せて評価を行う。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	口腔衛生学・総論 口腔保健の保持増進と予防の概念 口腔の構造と機能	小原 由紀	PC プロジェクター
2	歯・口腔の付着物	小原 由紀	PC プロジェクター
3	歯科疾患の疫学 口腔清掃	小原 由紀	PC プロジェクター
4	う蝕の予防① 発症要因とメカニズム う蝕活動性試験	小原 由紀	PC プロジェクター
5	う蝕の予防② う蝕予防方法	小原 由紀	PC プロジェクター
6	フッ化物によるう蝕予防	小原 由紀	PC プロジェクター

7	<u>歯周疾患の予防</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
8	<u>その他の疾患・異常の予防</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
9	<u>まとめ・媒体作成</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	小原 由紀	
10	<u>試験解説・まとめ</u>	小原 由紀	PC プロジェクター

公衆歯科衛生・歯科衛生統計

担 当 者	瀬名 浩太郎 東北大学大学院歯学研究科 地域共生社会歯学講座 予防歯科学分野 講師 専任教員		
単 位	時間数	履修時期	
2	30	1年後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と 予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学」（医歯薬出版）		
参 考 図 書			
学習目標	歯科衛生活動に必要な保健医療情報の収集・理解および収集したデータの 処理・解析方法を習得する。		
学習方略	教科書を中心に、スライドを使用しながら講義を行う。		
学習評価	講義・演習への参加態度。期末試験。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>保健情報と保健統計 1</u> 保健情報・保健統計・保健情報の種類	瀬名 浩太郎	プロジェクター
2	<u>保健情報と保健統計 2</u> 国家統計調査	瀬名 浩太郎	プロジェクター
3	<u>保健情報と疫学 1</u> 疫学総論・健康障害の発生要因	瀬名 浩太郎	プロジェクター
4	<u>保健情報と疫学 2</u> 疫学の方法論 スクリーニング	瀬名 浩太郎	プロジェクター
5	<u>歯科疾患の指数 1</u> 数量化と指数・う蝕の指数	瀬名 浩太郎	プロジェクター
6	<u>歯科疾患の指数 2</u> 歯周疾患の指数	瀬名 浩太郎	プロジェクター

7	<u>歯科疾患の指数3</u> 口腔清掃状態の指数・不正咬合と歯列不正の指数・ 歯のフッ素症指数・その他の歯科保健指標	瀬名 浩太郎	プロジェクター
8	<u>保健情報の分析手順</u> 保健情報の収集・調査・母集団と標本抽出	瀬名 浩太郎	プロジェクター
9	<u>保健統計の方法1</u> データの特性・記述統計・推定と信頼区間	瀬名 浩太郎	プロジェクター
10	<u>保健統計の方法2</u> 検定・保健情報の多変量解析・その他	瀬名 浩太郎	プロジェクター
11 12	<u>口腔観察法Ⅰ（講義・演習）</u> 口腔清掃の指数	専任教員	
13 14	<u>口腔観察法Ⅱ（講義・演習）</u> 歯周疾患の指数	専任教員	
15	<u>口腔内最近の観察</u> 位相差顕微鏡	専任教員	
	<u>試験</u>	瀬名 浩太郎 ／専任教員	

衛生学・公衆衛生学

担 当 者	萩原 潤 宮城大学 看護学群 兼 基盤教育群 准教授	
単 位	時間数	履修時期
1	20	1年前期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：「最新歯科衛生士教本 保健生態学」（医歯薬出版）	
参 考 図 書	小山 洋、他 監：「シンプル衛生公衆衛生学」（南江堂） 厚生統計協会 編：「国民衛生の動向」（厚生統計協会）	
学習目標	公衆衛生とは疾病の予防、寿命の延長、生活の質の向上を目的とした社会的な活動とその根拠となる知識を指す。歯科衛生士の活動は国民の公衆衛生の向上に寄与する役割がある。本講義では公衆衛生活動を行うため必要な知識である環境と人との関わり、疾病を予防するための社会の取り組みに関する知識の修得を目的とする。	
学習方略	教科書に沿って講義を行う。	
学習評価	筆記試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>総論</u> 衛生学・公衆衛生学の概略と公衆衛生活動について解説し、特に重要な概念である健康と予防医学について解説する。	萩原 潤	
2	<u>疫学、人口</u> 疫学：疫学の概念と様々な疫学研究の方法を解説し、疫学研究によって得られた知見について紹介する。 人口：人口に関する指標の計算方法と数値の解釈について解説する。その上で、これまでの世界と日本の人口の推移や、現在の状態を示す。	萩原 潤	
3	<u>環境と健康</u> 環境が人間に与える影響について生活環境（大気、水、騒音など）ごとに解説する。さらに廃棄物処理、環境保全についての取り組みを解説し、地球環境問題にも言及する。	萩原 潤	

4	<u>感染症</u> 感染症の概念とその流行について解説し、わが国における感染症の流行予防の対策を解説する。さらに、主な感染症の発生状況についても解説する。	萩原 潤	
5	<u>食品と健康</u> 現代の日本人の栄養と生活習慣の状況を解説し、さらに食中毒の変遷、特定保健用食品や食品添加物に関する行政の取り組みを紹介する。	萩原 潤	
6	<u>地域保健・公衆衛生、母子保健</u> 地域保健・公衆衛生：地域保健の概念と日本において地域保健活動を行う行政組織について解説する。 母子保健：女性が妊娠してから出産するまでの母子保健、生まれた子どもが学校に入学するまでの小児保健について解説する。	萩原 潤	
7	<u>学校保健、成人保健</u> 学校保健：学校保健の意義と概要、日本における学校保健の体制、組織について述べる。 成人保健：わが国における成人保健の現状について解説する。この年齢層において重要な問題である生活習慣病について解説する。	萩原 潤	
8	<u>産業保健、老人（高齢者）保健</u> 産業保健：産業保健の概念とその特徴について解説し、職業性疾病の定義と内容を解説する。 老人保健：高齢者に特有な健康障害と、社会環境について解説する。	萩原 潤	
9	<u>精神保健、災害時の歯科保健、国際保健</u> 精神保健：精神障害の分類と精神保健に関わる社会の取り組みについて紹介する。 災害時の歯科保健：大規模災害時の歯科保健について紹介する。 国際保健：日本における国際保健の仕組みや取組を紹介する。	萩原 潤	
	<u>筆記試験</u>	萩原 潤	
10	<u>まとめ：試験問題の解説</u>	萩原 潤	

歯科衛生士概論

担 当 者	小原 由紀 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任 石田 千尋 宮城高等歯科衛生士学院 専任教員 特別講師		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
2	30	1年前・後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯科衛生学概論」 （医歯薬出版） 佐藤陽子、齋藤淳 編著「歯科衛生ケアプロセス 実践ガイド」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：「最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理 第2版」（医歯薬出版）		
学 習 目 標	対人援助職である歯科衛生士に求められる基本的態度を理解し、歯科衛生業務を 実践する上で必要な知識および論理的思考の基礎を修得する。		
学 習 方 略	講義		
学 習 評 価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>歯科衛生学とは</u> <u>歯科衛生の歴史と現況</u> ・ 歯科衛生士の歴史 ・ 歯科衛生士業務	小原 由紀	PC プロジェクター
2	<u>歯科衛生と健康</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
3	<u>歯科衛生士法と関係する法規</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
4	<u>歯科衛生士と倫理</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
5	<u>歯科衛生実践のための理論</u>	小原 由紀	PC プロジェクター

6	<u>歯科衛生過程①</u> ・ 歯科衛生過程の必要性 ・ 歯科衛生過程の構成要素	小原 由紀	PC プロジェクター
7	<u>歯科衛生過程②</u> ・ 歯科衛生アセスメント	小原 由紀	PC プロジェクター
8	<u>歯科衛生過程③</u> ・ 歯科衛生診断と計画立案	小原 由紀	PC プロジェクター
9	<u>歯科衛生過程④</u> ・ 実施と評価	小原 由紀	PC プロジェクター
10	<u>歯科衛生過程⑤</u> ・ ペーパーペイシエントを対象とした展開	小原 由紀	PC プロジェクター
11	<u>医療安全確保における歯科衛生士の役割</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
12	<u>歯科衛生士の活動の場</u> ・ 諸外国における歯科衛生士の業務 ・ 企業での歯科衛生士の役割	特別講師	PC プロジェクター
13	<u>病院歯科における歯科衛生士の役割</u> ・ 周術期口腔機能管理とチーム医療	石田 千尋	PC プロジェクター
14	<u>保健・医療・福祉の制度と多職種連携</u> <u>災害時における歯科衛生活動</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
15	<u>国際協力</u> <u>歯科衛生士のキャリア形成</u> <u>まとめ</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	小原 由紀	

保存修復学

担 当 者	鎌野 優弥 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 歯科保存学分野 講師		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	1年後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	田上順次・千田彰・奈良陽一郎・桃井保子 編：「改訂版 保存修復学2 1」(永末出版) 平井義人・寺中敏夫、他 編：「保存修復学 第5版」(医歯薬出版)		
学習目標	保存修復学の概要を教え、歯牙硬組織疾患の診査・診断、治療の手順について理解する。		
学習方略	図、写真、ビデオを用いた講義		
学習評価	試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>歯の保存療法の種類と口腔診査</u> 歯の保存療法と歯科保存学・対象となる疾患 基礎知識と前準備・問診・現症の診査	鎌野 優弥	プロジェクター
2	<u>保存修復学の意味と概要①</u> 硬組織疾患ないし発育異常の種類と処置法 適応症と禁忌症、う蝕について	鎌野 優弥	プロジェクター
3	<u>窩洞の分類と名称</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
4	<u>保存修復学の意味と概要②</u> 処置ステップの流れと概要	鎌野 優弥	プロジェクター
5	<u>保存修復学の意味と概要③</u> 切削用器具・歯髄保護・欠損修復とその種類	鎌野 優弥	プロジェクター
6	<u>コンポジットレジン修復</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
7	<u>鋳造修復</u>	鎌野 優弥	プロジェクター

8	<u>ポーセレンインレー、レジニンインレー修復</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
9	<u>ホワイトニング、ラミネートベニア修復</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
10	<u>保存修復における歯科衛生士の役割</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
	<u>試験</u>	鎌野 優弥	

口腔保健学

(口腔疾患予防処置法 I ・ 保健指導法 I ・ 歯科診療補助法 I)

担 当 者	専任教員／特別講師（歯科医師、歯科衛生士、他）		
	単 位	時 間	履修時期
口腔疾患予防処置法 I	4	160時間	1年
保健指導法 I	3	120時間	1年
歯科診療補助法 I	3	122時間	1年
教 科 書	歯科予防処置論・歯科保健指導論／歯科診療補助論（医歯薬出版）／歯科機器 歯科材料（医歯薬出版）／歯科医療倫理（医歯薬出版）／歯科衛生ケアプロセス 実践ガイド（医歯薬出版）／人体の構造と機能2 栄養と代謝（医歯薬出版）		
参 考 図 書	標準歯周病学（医学書院）／ペリオドンタルインスツルメンテーション（医歯薬出版）／口腔ケア健康ガイド（学建書院）／歯科保健指導ハンドブック（医歯薬出版）／喫煙と健康（厚生労働省）／デンタルプラーク細菌（医歯薬出版）／Dental Hygiene Theory and Practice 2 nd ed.（WB Saunders）／歯ブラシ事典（学建書院）他		
一般目標（GIO）	対象となる個人、集団のニーズに応じた適切な歯科衛生行動をとるために、問題解決能力を高め、専門的な支援の実践につながる知識、技術、態度を修得する		
行動目標（SBOs）	1) 対象者から信頼を得られるような配慮を行う 2) 清潔不潔の概念を理解し、器具の滅菌、消毒や診療室の清掃を行う 3) 歯科治療時に必要な器械、材料の準備を行う 4) 対象となる組織の健康像を説明する 5) う蝕の発症と進行および予防について説明する 6) 歯科衛生ケアプロセスの概要を説明する 7) クリティカル思考の重要性について説明する		
学習方略（LS）	講義・演習・実習・グループ討議、およびシミュレーション実習		
学習評価（EV）	形成的評価 チェックリスト、観察記録、簡略化 OSCE 総括的評価 前・後期末試験 基礎知識客観試験、口頭試問、レポート		

回数	講義内容・項目	担当講師	使用機材
1 2	基礎訓練 ・手指基本訓練（折り紙） ・マネキンの取扱い	専任教員	
3	<u>口腔保健学の概要 講義</u> ・口腔保健学とは	専任教員	
4 ～ 7	<u>口腔保健学の概要（1、2年合同実習①） 演習</u> ・合同実習オリエンテーション（体験実習） アセスメント ・患者誘導、問診、口腔内概診 ・口腔内写真撮影および資料の取り扱いと管理 ・プラークスコア、う蝕活動性試験 実施（歯科衛生介入） ・TBI、フッ化物応用 ・栄養指導 評価 ・実施内容の評価と記録	専任教員	
8	<u>☺：歯科診療補助 総論 講義</u> ・歯科診療補助の概要	専任教員	
9 ～ 11	<u>☺：医療安全と感染予防 講義・実習</u> ・手指消毒 ・滅菌と消毒 ・医療廃棄物の取扱い	専任教員	
12	<u>☺：歯科診療室における共同動作 講義</u> ・歯科診療室の基礎知識 ・共同動作の基本 ・共同動作の方法	専任教員	
13 14	<u>☺：一般診療用器械・ユニット操作 講義・実習</u> ・歯科診療補助の意味 ・診療室の管理、資料の整理 ・使用する主な歯科器械類 ・歯科用ユニット操作	専任教員	
15 16	<u>☺：患者誘導 講義・演習</u> ・接遇・患者誘導の方法	専任教員	

17 18	<p>⑤ : <u>口腔内洗浄 講義・実習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科用ユニットの操作、ライティング、スリーウェイシリンジの操作、バキュームの操作 ・ メンテナンス 	専任教員	
19 20	<p>⑤ : <u>衛生用品作成 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 綿球、カット綿、ロールワッテ、小折ガーゼ、ブローチ綿花の用途 ・ 作製方法 	専任教員	
21 22	<p>⑤ : <u>歯科診療前準備、歯科診療記録 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 診療室の準備、受付業務 問診、カルテ、歯科用略語、口腔内概診の記録 	専任教員	
23	<p>⑥ : <u>歯科予防処置 総論 講義</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科予防処置の概要 ・ 歯科予防処置と歯科衛生士の役割 	専任教員	
24	<p>⑥ : <u>歯周疾患予防の基礎 講義</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象となる組織の健康像 ・ 歯周疾患の発症と進行 ・ 歯周疾患予防の考え方と予防手段 ・ リスクと診査 	専任教員	
25	<p>⑦ : <u>歯科保健指導 総論 講義</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科保健指導とは ・ 行動変容 	専任教員	
26	<p>⑦ : <u>プラークコントロールの意義 講義① (小学校実習前)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔内の付着物 ・ プラークコントロールの方法 	専任教員	
27	<p>⑦ : <u>口腔清掃自習法 演習 (小学校実習前)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔内の観察 	専任教員	
28 29	<p>⑦ : <u>口腔清掃用具の検討① 講義・演習 (小学校実習前)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種歯ブラシの特徴 ・ 各種歯ブラシの種類 	専任教員	

30 31	<p>㊦：各種ブラッシング法検討実習 講義・演習</p> <p>(小学校実習前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛先を使う方法 ・毛の脇腹を使う方法 	専任教員	
32 33	<p>㊦：口腔清掃法① 実習 (小学校実習前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種歯ブラシ 	専任教員	
34 ～ 42	<p>各現場活動における口腔衛生指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校口腔衛生指導実習 ・指導案作製、準備、リハーサル 	専任教員	
43 44	<p>㊦：口腔観察法①－1 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔の付着物の観察、記録の作成 ・舌、粘膜の観察 	専任教員	
45 46	<p>㊦：口腔観察法①－2 講義・実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯肉の観察 ・染出し 	専任教員	
47 48	<p>㊦：口腔観察法② 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔清掃の指数 (オレリーのPCR) 	専任教員	
49 50	<p>㊦：口腔清掃用具の検討② 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種清掃補助器具 (デンタルフロス、歯間ブラシ、ワンタフトブラシ、 舌ブラシ等) ・各種清掃補助器具の為害作用 	専任教員	
51 52	<p>㊦：口腔清掃法② 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デンタルフロス ・ワンタフト 	専任教員	
53 54	<p>㊦：口腔清掃用具の検討③ 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯磨剤の効果、主な作用 ・歯磨剤の所要条件 ・歯磨剤の分類 ・歯磨剤の為害作用 	専任教員	
55	<p>喫煙について 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙の及ぼす影響 ・グループワーク 	特別講師 ／専任教員	

56 57	<p>⑤ : <u>模型材の取扱い 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科用石こうの取扱い ・ スタディモデルの意義と目的 	専任教員	
58 59	<p>⑤ : <u>印象材の取扱い① 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アルジネート印象材の取扱い ・ アルジネート印象材の練和（手練り） 	専任教員	
60 61	<p>⑤ : <u>概形印象採得① 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既製トレーの選択、試適、補正 ・ 下顎概形印象採得 	専任教員	
62 63	<p>⑤ : <u>概形印象採得② 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既製トレーの選択、試適、補正 ・ 上顎概形印象採得 	専任教員	
64 65	<p>⑤ : <u>印象材の取扱い② 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アルジネート印象材の取扱い ・ アルジネート印象材の練和（器械練り） 	専任教員	
66 67	<p>⑤ : <u>概形印象採得～スタディモデルの作製① 実習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既製トレーの選択、試適、補正 ・ 下顎概形印象採得 ・ 石こう注入、下顎模型作製 	専任教員	
68 69	<p>⑤ : <u>概形印象採得～スタディモデルの作製② 実習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既製トレーの選択、試適、補正 ・ 上顎概形印象採得 ・ 石こう注入、上顎模型作製 	専任教員	
70	<p>⑥ : <u>使用器材の名称と使用目的 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 診査用器具 ・ 各種スケーラー ・ 基本セットの取り扱い 	専任教員	
71 72	<p>⑥ : <u>歯周検査の必要性① 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯周組織検査の方法 ・ 操作方法、基本姿勢 ・ プロービング操作 	専任教員	

73 74	㊦：歯周検査の必要性② 実習 ・プロービング 上顎3-3の操作法	専任教員	
75 76	㊦：歯周検査の必要性③ 実習 ・プロービング 下顎3-3の操作法	専任教員	
77	㊦：歯周検査の必要性 演習 ・プロービング 臼歯部の操作法	専任教員	
78 79	㊦：歯周検査の必要性④ 実習 ・プロービング 下顎 左右4-7の操作法	専任教員	
80 81	㊦：歯周検査の必要性⑤ 実習 ・プロービング 上顎 左右4-7の操作法	専任教員	
	㊦：実技試験（プロービングの基本操作） ・オリエンテーション	専任教員	
	実技試験（プロービングの基本操作）	専任教員	
82	㊦：口腔清掃法③ 実習 ・ブラッシングテクニック（100%みがき）	専任教員	
83 84	㊦：口腔清掃法④ 実習 ・ブラッシングテクニック（術者みがき）	専任教員	
85 86	㊦：口腔清掃用具の検討④ 講義・演習 ・電動歯ブラシの種類 ・電動歯ブラシの為害作用 グループワーク	専任教員	
	歯科臨床見学実習 事前準備・まとめ ・オリエンテーション ・実習報告会、申し送り書作成	専任教員	
87 88	㊦：歯面研磨の必要性① 講義・演習 ・目的、使用器材と操作方法 ・偶発事故の防止	専任教員	
89 90	㊦：歯面研磨の必要性② 実習 ・口腔内概診、染出し、歯面研磨（下顎）	専任教員	

91 92	㊦：歯面研磨の必要性③ 実習 ・口腔内概診、染出し、歯面研磨（上顎）	専任教員	
93 94	㊦：復習実習 ・歯面研磨 実習	専任教員	
95 96	㊦：超音波・エアスケーラーの基本操作法① 講義・演習 ・超音波スケーラーの特徴、使用方法 ・エアスケーラーの特徴、使用方法 ・感染対策 ・超音波スケーラーでの人工歯石除去と観察	専任教員	
97 98	㊦：超音波スケーラーの基本操作法② 実習 ・口腔内概診、染出し、超音波スケーリング（上顎）	専任教員	
99 100	㊦：超音波スケーラーの基本操作法③ 実習 ・口腔内概診、染出し、超音波スケーリング（下顎）	専任教員	
101 102	㊦：復習実習 ・超音波スケーラー 実習	専任教員	
103	㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 講義 ・目的、操作方法、基本姿勢 ・鎌型スケーラー操作法、各種運動	専任教員	
104	㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 ・基礎訓練 ・基本3運動の基礎訓練（前歯部）	専任教員	
105	㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 演習① ・基本訓練（各種運動） ・上顎3-3の操作法	専任教員	
106	㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 演習② ・各種運動（各種運動） ・下顎3-3の操作法	専任教員	
107	㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 ・基本訓練 ・基本の3運動の基礎訓練（臼歯部）	専任教員	

108 109	㊦： <u>鎌型スケーラーの基本操作法 実習①</u> ・口腔内概診、下顎 3-3 の操作法	専任教員	
110 111	㊦： <u>鎌型スケーラーの基本操作法 実習②</u> ・口腔内概診、上顎 3-3 の操作法	専任教員	
112	㊦： <u>鎌型スケーラーの基本操作法 演習③</u> ・各種運動（各種運動） ・右下 4-7 の操作法	専任教員	
113	㊦： <u>鎌型スケーラーの基本操作法 演習④</u> ・各種運動（各種運動） ・右上 4-7 の操作法	専任教員	
114 115	㊦： <u>鎌型スケーラーの基本操作法 実習③</u> ・口腔内概診、右下 4-7 の操作法	専任教員	
116 117	㊦： <u>鎌型スケーラーの基本操作法 実習④</u> ・口腔内概診、右上 4-7 の操作法	専任教員	
118	㊦： <u>鎌型スケーラーの基本操作法 演習⑤</u> ・各種運動（各種運動） ・左下 4-7 の操作法	専任教員	
119 120	㊦： <u>鎌型スケーラーの基本操作法 実習⑤</u> ・口腔内概診、左下 4-7 の操作法	専任教員	
121 122	㊦： <u>シャープニングの必要性～ 鎌型スケーラー 講義・演習</u> ・目的、使用器材、操作法	専任教員	
123	㊦： <u>鎌型スケーラーの基本操作法 演習⑥</u> ・各種運動（各種運動） ・左上 4-7 の操作法	専任教員	
124 125	㊦： <u>鎌型スケーラーの基本操作法 実習⑥</u> ・口腔内概診、左上 4-7 の操作法	専任教員	
126 127	㊦： <u>復習実習</u> ・スケーリング（鎌型スケーラー） ・シャープニング	専任教員	

128 129	<p>④ : <u>印象材の取扱い③ 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寒天印象材の取扱い ・ 寒天、アルジネート連合印象採得（Ⅰ級窩洞） 	専任教員	
130 131	<p>④ : <u>印象材の取扱い④ 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合成ゴム質（エラストマー）印象材の取扱い ・ シリコンゴム印象材（付加型）による精密印象採得（2回法）（Ⅱ級窩洞） ・ 歯肉圧排法 	専任教員	
132 133	<p>④ : <u>精密印象 実習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シリコンゴム印象材（付加型）による精密印象採得（2回法） ・ 歯肉圧排、対合歯印象採得、咬合採得 	専任教員	
134	<p>④ : <u>仮着材の取扱い 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮着材の種類、特徴、取扱い 	専任教員	
135 136	<p>④ : <u>合着材および接着材の取扱い 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科用セメントの種類、特徴、取扱い 	専任教員	
137 138	<p>④ : <u>仮封材の取扱い 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮封材の種類、特徴、取扱い 	専任教員	
139 140	<p>④ : <u>成形歯冠修復材の取扱い① 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成形歯冠修復材の種類 ・ グラスアイオノマーセメントの取扱い ・ グラスアイオノマーセメント修復（術式、器具器材の名称、取扱い） ・ グラスアイオノマーセメント（Ⅴ級窩洞）充填 	専任教員	
141 142	<p>④ : <u>成形歯冠修復材の取扱い② 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンポジットレジンの取扱い ・ コンポジットレジン修復（術式、器具器材の名称、取扱い） ・ コンポジットレジン（Ⅲ級窩洞）充填 	専任教員	
143 144	<p>⑤ : <u>保健指導の実際① 演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 症例検討① 	専任教員	

145 146	<u>総合実習（模擬患者実習①）（実習見学）</u> <u>アセスメント</u> ・患者誘導、問診、口腔内概診・口腔内写真撮影 ・歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデル、口腔関連 QOL モデルの応用 ・う蝕活動性試験 ・情報収集、処理 <u>歯科衛生診断、計画立案</u> ・問題点の明確化と歯科衛生ケアプランの作成（簡易） <u>実施（歯科衛生介入）</u> ・TBI、歯面研磨・フッ化物応用 ・栄養指導、禁煙指導 <u>評価</u> ・実施内容の評価、業務記録の作成、歯科衛生ケアプロセスの 展開	専任教員 ／特別講師	
147 148	㊦： <u>食生活指導</u> ・食生活指導に必要な基礎栄養学 ・口腔疾患と食生活の関連について	専任教員	
149 150	㊦： <u>食生活指導</u> ・妊産婦期、乳児期の栄養と食生活指導 ・幼児期、学齢期の栄養と食生活指導	専任教員	
151 152	㊦： <u>食生活指導</u> ・思春期、青年期、成人期の栄養と食生活指導 ・高齢期の栄養と食生活指導	専任教員	
153 154	㊦： <u>問診からの聞き取り</u> ・情報収集と医療面接	専任教員	
155 156	㊦： <u>復習実習</u> ・ブラッシングテクニック（術者みがき）	専任教員	
157 158	㊦： <u>う蝕予防の基礎 講義</u> ・対象となる組織 ・病因と病態論 ・う蝕の発症と進行 ・う蝕予防の考え方と予防手段 ・リスクと診査	専任教員	
159 ～ 161	㊦： <u>う蝕活動性試験 講義・演習</u> ・目的、種類、方法、評価	専任教員	

162 163	<p>㊦：フッ素洗口法、フッ化ジアミン銀塗布法 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的、方法、患者指導 ・集団応用 	専任教員	
164 165	<p>㊦：フッ化物歯面塗布法 演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的、方法、安全性の配慮、患者指導 	専任教員	
166 ～ 168	<p>㊦：フッ化物歯面塗布法 実習（綿球塗布法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的、方法、安全性の配慮、患者指導 	専任教員	
169 170	<p>㊦：フッ化物歯面塗布法 実習（トレー法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的、方法、安全性の配慮、患者指導 	専任教員	
171 172	<p>㊦：簡易防湿、完全防湿 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラバーダム防湿の術式、使用器具器材の名称、取扱い 	専任教員	
173 174	<p>㊦：小窩裂溝填塞法 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的、種類、方法、患者指導 	専任教員	
175 176	<p>㊦：小窩裂溝填塞法 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児のう蝕予防 ラバーダム防湿の術式手順、使用器具器材の取扱い 小窩裂溝填塞の術式手順、使用器具器材の取扱い 	専任教員	
177 178	<p>㊦：小外科手術時の器材の取扱い 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小外科手術時の器材の取扱い ・局所麻酔薬、替刃メス、縫合用器材の準備と取扱い ・歯肉包帯材の取扱い ・外科治療、痛みに対する処置、術後指導 	専任教員	
179 180	<p>㊦：歯科診療中における主な事故とその対策 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事故とその対策 ・救急蘇生法 一次救命処置、過換気症候群の対応、歯科用ユニットでの体位 ・バイタルサイン 	専任教員	
181 ～ 184	<p>㊦：口腔内写真撮影法 講義・実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内カメラの取扱い、5枚法の撮影方法 	専任教員	

185	<p>⑤ : <u>口腔内写真撮影 情報処理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内写真データ処理 	専任教員	
186	<p>⑥ : <u>プラークコントロールの意義 講義②</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラークが及ぼす口腔内の影響 ・プラークコントロールの方法 ロールプレイにて患者説明 	専任教員	
187 ~ 189	<p>⑦ : <u>復習実習</u></p> <p>歯周基本治療の相互実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PD ・スケーリング（超音波スケーラー） ・歯面研磨 	専任教員	
	<p>⑧ : <u>実技試験（接遇、患者誘導）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション 	専任教員	
	<p><u>実技試験（接遇、患者誘導）</u></p>	専任教員	
	<p><u>実技試験（簡略化臨床能力試験）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション 	専任教員	
	<p>⑨ : <u>実技試験（簡略化臨床能力試験）</u></p>	専任教員	
190 191	<p>⑩ : <u>対象別指導法 ～学童期～ 講義</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童期（低学年）の歯科保健行動 ・学童期（中学年）の歯科保健行動 ・学童期（高学年）の歯科保健行動 	専任教員	
192 ~ 200	<p>⑪ : <u>対象別指導法 ～学童期～ 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校実習の概要 ・指導案の作成 ・学校歯科保健の概要 ・歯科保健指導と授業の考え方 ・集団指導と教材資料 	専任教員 ／特別講師	
201	<p>⑫ : <u>小集団指導法① 演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声、朗読法 	専任教員	

	<u>歯科臨床実習 事前準備・まとめ</u> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・実習のまとめ（申し送り書作成） 	専任教員	
	<u>期末試験</u> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記 	専任教員	

看護学

担 当 者	渡邊 生恵 東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科 教授 石川 環 東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科 講師	
単 位	時間数	履修時期
1	15	1年後期
教 科 書	講義時に資料配付	
参 考 図 書	講義中に随時紹介	
学習目標	看護における援助のプロセス・方法を学び、医療職者に共通する問題解決過程、観察、安全管理について理解する。	
学習方略	講義、演習	
学習評価	試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>看護とは①</u> 歯科衛生士とともに働くことの多い看護職（看護師・助産師・保健師）について、その役割と対象者について学びます。	渡邊 生恵	PC プロジェクター
2	<u>情報収集と観察①</u> (演習)バイタルサイン（意識、体温、脈拍、呼吸、血圧）の測定を通して、対象者の観察の重要性とその方法を学びます。	石川 環	体温計
3	<u>情報収集と観察②</u> (演習)バイタルサイン（意識、体温、脈拍、呼吸、血圧）の測定を通して、対象者の観察の重要性とその方法を学びます。	石川 環	聴診器、血圧計
4	<u>情報収集と観察③</u> (演習)バイタルサイン（意識、体温、脈拍、呼吸、血圧）の測定を通して、対象者の観察の重要性とその方法を学びます。	石川 環	体温計、 聴診器、血圧計
5	<u>看護とは②</u> 看護における問題解決過程を通して、歯科衛生ケアプロセスとの共通点・違いについて学びます。	渡邊 生恵	PC プロジェクター

6	<u>安全①</u> 医療事故はなぜ起こるのか？対象者の安全を守るためにヒューマンエラーと安全管理について学びます。	渡邊 生恵	PC プロジェクター
7	<u>安全②</u> 様々な感染症からどのように対象者と自分自身を守るのか？感染予防のためのスタンダード・プリコーションについて学びます。	渡邊 生恵	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	渡邊 生恵	
8	<u>試験解説・まとめ</u>	渡邊 生恵	PC プロジェクター

第 2 学 年

令和 7 年度入学生（ 第 5 6 回生 ）

令和7年度入学生（第56回生）教育課程

教育内容	該当科目		単位数	時間数	第1学年		第2学年		第3学年		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野					10	165					
科学的思考の基盤・人間と生活	自然科学・人文科学・社会学	化学	1	15	●						
		生物学の基礎	1	15	●						
		数学統計の基礎	1	15			●				
		倫理学	1	15			●				
		情報科学	1	20	●						
	外国語	実践英語Ⅰ	1	15	●						
		実践英語Ⅱ	1	15			●				
		歯科英語	1	15			●				
	コミュニケーション学	行動科学	1	20						●	
	心理学	1	20		●						
専門基礎分野					22	355					
人体の構造と機能	人体構造学	解剖学	2	30	●						
		組織・発生学	1	20		●					
	人体機能学（生理学）	1	20		●						
歯・口腔の構造と機能	生体物質・口腔の化学（生化学）		2	30	●	●					
	口腔構造学	口腔解剖学	2	30	●	●					
		歯牙解剖	1	20	●						
疾病の成り立ちと回復過程の促進	病理学・口腔病理学		2	30		●					
	薬理学・歯科薬理学		2	30		●					
	微生物学・口腔微生物学		2	30		●					
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学	口腔衛生	1	20	●						
		公衆歯科衛生・歯科衛生統計	2	30		●					
	衛生学・公衆衛生学		1	20	●					●	
	カリオロジー学		1	15						●	
	衛生行政・社会福祉		2	30			●				
専門分野					59	2125					
歯科衛生士概論	歯科衛生士概論		2	30	●	●					
臨床歯科医学	歯・歯髄疾患論	保存修復学	1	20		●					
		歯内療法学	1	20			●				
	歯周疾患論	歯周療法Ⅰ	1	20			●				
		歯周療法Ⅱ	1	15						●	
	咀嚼障害・咬合異常論	歯科補綴学	1	20			●				
		歯科矯正学	1	15			●				
	顎口腔疾患論	口腔外科学	1	15			●				
		全身管理学	1	15			●				
	小児歯科学		1	20			●				
障がい者・高齢者歯科学		1	20			●					
予防処置論	口腔疾患予防処置法	Ⅰ	4	160	●	●					
		Ⅱ	2	80			●	●			
		Ⅲ	2	80					●	●	
歯科保健指導論	口腔保健学	保健指導Ⅰ（含 栄養指導）	3	120	●	●					
		保健指導Ⅱ	2	80			●	●			
		保健指導Ⅲ（含 関連医学）	2	80					●	●	
		歯科衛生ケアプロセス	1	15			●				
歯科診療補助論	歯科診療補助学	補助法Ⅰ	3	120	●	●					
		補助法Ⅱ（含 歯科材料、歯科放射線学、介護技術）	3	120			●	●			
		補助法Ⅲ（含看護学）	2	80					●	●	
		感染予防学	1	15			●				
		医学一般・臨床検査法	1	20			●	●			
臨地・臨床実習	臨地・臨床実習Ⅰ		2	90	●	●					
	臨地・臨床実習Ⅱ		8	360			●	●			
	臨地・臨床実習Ⅲ		11	495					●	●	
必修隣接分野					12	239					
総合科目（健康と教養）	看護学		1	15		●					
	口腔リハビリテーションⅠ		1	15				●			
	口腔リハビリテーションⅡ		2	30					●	●	
	病院管理学（社会保険・請求事務・歯科マネジメント）		1	15						●	
	総合歯学		5	104						●	
研究	国際コミュニケーション		1	30			●				
	研究		1	30			●	●			
総計			103	2884	434	516	525	475	610	324	
					950		1000		934		

基礎分野

数学統計の基礎

倫理学

歯科英語

専門基礎分野

衛生行政・社会福祉

専門分野

歯内療法学

歯周療法学 I

歯科補綴学

歯科矯正学

口腔外科学

全身管理学

小児歯科学

障がい者・高齢者歯科学

口腔疾患予防処置法 II ・保健指導法 II ・歯科診療補助法 II
(含歯科材料・歯科口腔放射線学・介護技術)

歯科衛生ケアプロセス

感染予防学

医学一般・臨床検査法

必修隣接分野

口腔リハビリテーション I

国際コミュニケーション

研究

数学統計の基礎

担 当 者	黒川 修行 宮城教育大学 教職大学院 教授	
単 位	時間数	履修時期
1	15	2年前期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学」（医歯薬出版）	
参 考 図 書	市原清志 編：「バイオサイエンスの統計学」（南江堂） 向後千春、他 著：「統計学がわかる」（技術評論社）	
学習目標	統計とは現象の法則性を探究するために発生した方法論であり、これを利用することで様々な意志決定がなされている。本講義では統計学の理論的な枠組みの解説を行い、データの取得から初歩的な統計的手法を学習する。	
学習方略	講義とコンピュータを用いた解析実習を行う。	
学習評価	レポート課題およびテストによる評価を行う。	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>統計学とデータ、確率、統計学的推測の基礎</u> 統計学の歴史と、データに対する考え方である母集団と標本について解説する。また、統計学において重要な概念である推測統計の考え方について解説する。	黒川 修行	
2	<u>データとはなにか</u> データの性格、誤差、種類などについて解説する。 また、データ取得後に行われるデータ要約にあたっての基本統計について解説する。	黒川 修行	計算機
3	<u>基本的なデータの解析</u> データ取得後に行われるデータ要約にあたっての基本統計量について例題などを用いて、実際に解析を行う。	黒川 修行	計算機

4	<u>データの関係性に関する分析（1）</u> 2つのカテゴリ変数を組み合わせた分割表の作成と、その検定の方法について具体例を挙げて解説するとともに、計算機などを用いて演習を行う。 また、2つの連続変数の関係性を見る相関関係、回帰分析について、例を挙げながら、解説する。	黒川 修行	計算機 コンピュータ
5	<u>データの関係性に関する分析（2）</u> 2つの連続変数の関係性を見る相関関係、回帰分析について、例を挙げながら、解説する。その検定の方法について具体例を挙げて、計算機などを用いて演習を行う。	黒川 修行	計算機 コンピュータ
6	<u>二群の比較（1）</u> 2つの群の比較についての検定方法について、具体例を挙げて解説するとともに、計算機や表計算ソフトなどを用いて演習を行う。	黒川 修行	計算機 コンピュータ
7	<u>二群の比較（2）</u> 2つの群の比較についての検定方法について、具体例を挙げて解説するとともに、計算機や表計算ソフトなどを用いて演習を行う。	黒川 修行	計算機 コンピュータ
8	<u>三群以上の比較に関する検定および総合演習</u> 3つの群以上の比較についての検定方法（主に分散分析）について、具体例を挙げて解説および演習を行う。また、これまで行った解析方法について、総合的な演習を行う。	黒川 修行	計算機 コンピュータ
	<u>試験</u>	黒川 修行	計算機

倫理学

担 当 者	齋藤 直樹 盛岡大学 文学部 社会文化学科 教授	
単 位	時間数	履修時期
1	15	2年前期
教 科 書	教科書は使用しない。必要な資料を講義時に配付する。	
参 考 図 書	講義内で適宜紹介する。	
学 習 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先端医療技術にまつわる倫理的な問題に対する思考力を養う。 ・ 人間の生と死をめぐる倫理的な問題に対する思考力を養う。 	
学 習 方 略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題毎に講義形式で実施する 	
学 習 評 価	出席・授業態度・学期末試験の成績による	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>生命倫理学の基礎概念とその代表的な問題</u>	齋藤 直樹	パワーポイント
2	<u>先端医療技術にまつわる倫理的問題（1）</u> — 「生殖補助医療技術」（ART）をめぐる問題（その1）	齋藤 直樹	パワーポイント
3	<u>先端医療技術にまつわる倫理的問題（2）</u> — 「生殖補助医療技術」（ART）をめぐる問題（その2）	齋藤 直樹	パワーポイント
4	<u>先端医療技術にまつわる倫理的問題（3）</u> — 「クローン技術」をめぐる問題	齋藤 直樹	パワーポイント
5	<u>先端医療技術にまつわる倫理的問題（4）</u> — 「性別再指定手術」（SRS）をめぐる問題	齋藤 直樹	パワーポイント
6	<u>先端医療技術にまつわる倫理的問題（5）</u> — 「臓器移植」と「脳死」をめぐる問題	齋藤 直樹	パワーポイント

7	<u>先端医療技術の中での人間の「生と死」(1)</u> —「告知」と「死の受容」	齋藤 直樹	パワーポイント
8	<u>先端医療技術の中での人間の「生と死」(2)</u> —「ターミナル・ケア」にみる人間の生と死	齋藤 直樹	パワーポイント
	<u>試験</u>	齋藤 直樹	

歯科英語

担 当 者	小原 由紀 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	15	2年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯科英語」 (医歯薬出版)		
参 考 図 書	Periodontal Instrumentation / Anna Matsuishi Pattison, Gordon L.Pattison.- 2 nd ed. Appleton & Lange		
学 習 目 標	一般目標 (GIO) 歯科衛生士に必要な専門知識を英語で理解するための基礎を修得する。 行動目標 (SBOs) 1) 英単語を自分で辞書を引き調べる。 2) 口腔衛生指導を英語で説明することを学ぶ。		
学 習 方 略	1) 講義 2) CD 音声の利用		
学 習 評 価	試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>Part 2</u> p127- Important Vocabulary for Dental Hygienists	小原 由紀	PC、音声データ スピーカー
2	<u>Part 1-1</u> p2- Making an Appointment by Telephone	小原 由紀	PC、音声データ スピーカー
3	<u>Part 1- 5</u> p24 Asking the Patient to Describe Symptoms	小原 由紀	PC、音声データ スピーカー
4	<u>Part 1- 6</u> p32- Asking the Medical History	小原 由紀	PC、音声データ スピーカー
5	<u>Part 1- 7</u> p38- Periodontal Diseases	小原 由紀	PC、音声データ スピーカー
6	<u>Part 1-12</u> p82- Fluoride treatment	小原 由紀	PC、音声データ スピーカー
7	<u>Part 1- 15</u> p100- Postoperative Instructions to the Patient	小原 由紀	PC、音声データ スピーカー
	<u>試験</u>	小原 由紀	
8	<u>試験解説とまとめ</u>	小原 由紀	PC、音声データ スピーカー

衛生行政・社会福祉

担 当 者	原田 真奈実 東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野 助教 阿部 利江 東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科 講師		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
2	30	2年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と 予防に関わる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度」 (医歯薬出版)		
参 考 図 書	適宜、講義の中で紹介します。		
学 習 目 標	日本の法・制度の枠組みと、歯科衛生業務を行う上で必要な諸法規を学ぶこ とを通して、社会の仕組みとそこでの歯科衛生の役割を理解します。また、 これからの保健、医療、福祉分野における歯科のあり方を考え、歯科衛生士 として積極的に社会に参画する素養を身につけることを目指します。		
学 習 方 略	「歯科衛生学教育コア・カリキュラム—教育内容ガイドライン—」に基づく 講義を基本とし、指定の教科書に沿って授業を進めます。その際、多様な事 例を織り交ぜることで、分かりやすい説明に努め、歯科衛生士が関わる保健・ 医療・介護の現場での働きや課題を具体的に想起させて理解を深めます。		
学 習 評 価	筆記試験により評価します。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>イントロダクション・法制概論・医療法（1）</u> 一連の講義内容を紹介するとともに、学習目標と学習方 略について説明します。また、社会規範と法律、医療関 連法規の枠組みについて説明します。さらに、医療法を 概説します。	原田 真奈実	PC プロジェクター プリント
2	<u>医療法（2）</u> 医療法の諸規定、インフォームドコンセント、医療計画 などについて学びます。	原田 真奈実	PC プロジェクター プリント
3	<u>歯科医師法・歯科衛生士法（1）</u> 歯科医師法の沿革と法律の内容を概説します。また、歯 科衛生士法の成り立ちを概説し、目的と定義、業務につ いて学びます。	原田 真奈実	PC プロジェクター プリント
4	<u>歯科衛生士法（2）</u> 法律が定める業務の具体的な内容と諸規定を学びます。	原田 真奈実	PC プロジェクター プリント

5	<u>歯科衛生士法（３）</u> 歯科衛生士国家試験に関すること、免許・登録・届出に関する規定などを学びます。	原田 真奈実	PC プロジェクター プリント
6	<u>歯科衛生士法（４）・歯科技工士法</u> 歯科衛生士法について練習問題などによってこれまで学んだことを復習します。また、歯科技工士法の沿革と法律の内容を学びます。	原田 真奈実	PC プロジェクター プリント
7	<u>医療関係職種</u> 歯科医療と関わる医療関係職種について、その法規に基づいて学びます。	原田 真奈実	PC プロジェクター プリント
8	<u>関係法規</u> 地域包括ケア・地域保健（健康増進・母子・学校保健・労働衛生・精神障害者福祉など）・歯科口腔保健法などを学びます。	原田 真奈実	PC プロジェクター プリント
9	<u>関係法規</u> 薬事関連法規、食品衛生・感染症・廃棄物などに関連する法規を学びます。	原田 真奈実	PC プロジェクター プリント
10	<u>社会保障（１）</u> 社会保障の意義と各種社会保険の概要を説明します。	阿部 利江	プロジェクター
11	<u>社会保障（２）</u> 各種社会保障制度の具体的な内容を説明します。	阿部 利江	プロジェクター
12	<u>社会福祉（１）</u> 社会福祉法制度の枠組みと行政機構、及び生活保護制度などについて説明します。	阿部 利江	プロジェクター
13	<u>社会福祉（２）</u> 児童と家庭、障害者、高齢者の福祉制度と法律について説明します。	阿部 利江	プロジェクター
14	<u>医療の動向</u> 保険制度の仕組みを概説します。また、近年の医療の動向について学びます。	原田 真奈実	PC プロジェクター プリント
	<u>試験</u>	原田 真奈実 阿部 利江	
15	<u>試験解説</u> 採点した試験を返却して試験の解説を行います。	原田 真奈実	PC プロジェクター

歯内療法学

担 当 者	向阪 幸彦 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 歯内歯周治療学分野 助教		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	20	2年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監修：歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	勝海一郎・興地隆史・石井信之・中田和彦 編著：「歯内治療学 第5版」（医歯薬出版）		
学 習 目 標	歯髄および根尖性歯周疾患の原因と進展機序を理解し、各種歯内治療法の目的および術式を理解する。		
学 習 方 略	講義		
学 習 評 価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>歯内療法の概要（1）</u> ・ 内療法学の概要 ・ 歯髄疾患の分類と症状	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
2	<u>歯内療法の概要（2）</u> ・ 根尖性歯周炎の分類と症状 ・ 歯内療法特有の検査と診断 ・ 歯髄疾患・根尖性歯周炎の処置	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
3	<u>歯髄の保存療法</u> ・ 歯髄鎮痛消炎療法 ・ 覆髄法	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
4	<u>歯髄の除去療法</u> ・ 生活断髄法 ・ 直接抜髄法	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
5	<u>根管治療・根管充填（1）</u> ・ 根管治療の基本概念 ・ ラバーダム防湿 ・ 根管長測定	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント

6	<u>根管治療・根管充填（2）</u> ・ファイルの国際規格 ・根管の拡大形成・消毒	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
7	<u>根管治療・根管充填（3）</u> ・根管充填 根未完成歯の根管処置	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
8	<u>外科的歯内療法（1）</u>	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント ファイル類見本
9	<u>外科的歯内療法（2）</u> 歯の外傷	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
10	<u>歯内療法における安全対策</u> <u>歯内療法における歯科衛生士の役割</u>	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント ファイル類見本
	<u>試験</u>	向阪 幸彦	

歯周療法学 I

担 当 者	梶川 哲宏 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 歯内歯周治療学分野 講師		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	2年前期	
教 科 書	『歯科衛生学シリーズ 歯周病学』全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社		
参 考 図 書	沼部幸博、齋藤 淳、梅田 誠 編：「歯科衛生士講座 歯周病学 第5版」 (永末書店)		
学習目標	1. 歯周組織の構造と機能について説明できる。 2. 歯周病の発症・進展機構について説明できる。 3. 歯周治療の理論的背景について説明できる。 4. 歯周治療の術式を知り、それを説明できる。 5. 歯周治療に果たす歯科衛生士の役割を説明できる。		
学習方略	講義		
学習評価	授業への出席状況を参考にすると共に、筆記試験の成績をもって評価する。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>歯周病学概論・歯周組織の構造と機能</u> 総論（イントロダクション）、歯周組織の解剖学	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
2	<u>歯周病の進行と分類</u> 歯周病の病型とその特徴	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
3	<u>歯周疾患の検査1</u> 歯周組織検査法、歯周病診断の考え方	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
4	<u>歯周疾患の検査2</u> 疫学的指数を用いた検査	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント

5	<u>歯周基本治療 1</u> 歯周基本治療の概念 プラークコントロールの考え方と実際 スケーリング・ルートプレーニング	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
6	<u>歯周基本治療 2</u> 歯周病の病因としての咬合 外傷性咬合への対処（咬合調整、固定法など）	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
7	<u>歯周外科治療 1</u> 歯周外科総論 各論 1：組織付着療法 各論 2：切除療法	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
8	<u>歯周外科治療 2</u> 各論 3：歯周組織再生療法 各論 4：歯周形成手術 歯周外科に用いる器具	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
9	<u>根分岐部病変と歯周一歯内疾患、口腔機能回復治療</u> 根分岐部病変とその処置法 歯周一歯内病変 永久固定 歯周病における矯正治療 インプラント周囲疾患と歯周病の関係	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
10	<u>Supportive Periodontal Therapy (SPT)、ペリオドンタル・メディシン</u> 歯周病における化学療法とその理論的背景 歯周治療に果たす歯科衛生士の役割 歯周治療が全身の健康に果たす役割	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
	<u>試験</u>	梶川 哲宏	

齒科補綴学

担 当 者	※江草先生依頼中		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	2 0	2 年 前 期	
教 科 書			
参 考 図 書			
学 習 目 標			
学 習 方 略			
学 習 評 価			

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

歯科矯正学

担 当 者	金高 弘恭 東北大学大学院歯学研究科 地域共生社会歯学講座 顎口腔矯正学分野 教授	
単 位	時 間 数	履 修 時 期
1	15	2年前期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学 第2版」 (医歯薬出版)	
参 考 図 書	佐々木洋 編：「口腔の成育をはかる 全3巻」(医歯薬出版)	
学 習 目 標	歯科矯正学とは、不正咬合の診断、抑制、治療を行う歯科の一分野である。 不正咬合とそれによる様々な障害、それに対して矯正歯科医がどのように対 処するのかを学び、歯科衛生士の業務内容、それらに必要な知識と技術を修 める。	
学 習 方 略	講義	
学 習 評 価	筆記試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	① <u>歯科矯正学概論</u> ／② <u>顎顔面の成長発育</u> ①歯科矯正学の定義、不正咬合による障害、矯正治療の 目標 ②成長発育、頭部の成長発育、顎の成長発育について	金高 弘恭	PC プロジェクター
2	① <u>正常咬合</u> ／② <u>不正咬合</u> ①正常咬合の概念、条件 ②不正咬合の概念、条件、上下歯列関係の異常	金高 弘恭	PC プロジェクター
3	① <u>不正咬合の分類</u> ／② <u>不正咬合の原因</u> ①不正咬合の種類、Angle の分類 ②不正咬合になりうる遺伝的原因、後天的原因	金高 弘恭	PC プロジェクター
4	① <u>口腔習癖</u> ／② <u>矯正力</u> ①異常習癖による不正咬合の誘発、これらの抑制・治療 ②矯正力の定義と分類、歯の移動様式、固定種類	金高 弘恭	PC プロジェクター
5	① <u>診断学概論</u> ／② <u>症例の診断</u> ①診断の定義と進め方、診察に必要な資料等 ②症例分析の概要	金高 弘恭	PC プロジェクター

6	<u>矯正器具、材料</u> 矯正器具と材料を画像で理解する	金高 弘恭	PC プロジェクター
7	<u>矯正装置</u> 装置のはたらきと適用、必要な材料等	金高 弘恭	PC プロジェクター
8	<u>①保定／②矯正臨床における歯科衛生士の役割</u> ①動的処置終了後の必要な装置であることの説明、種類と期間 ②口腔衛生指導、診療介助、口腔機能改善の内容	金高 弘恭	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	金高 弘恭	

口腔外科学

担 当 者	江副 祐史 東北大学大学院歯学研究科 病態マネジメント歯学講座 顎顔面口腔再建外科学分野 助教 森島 浩允 東北大学大学院歯学研究科 病態マネジメント歯学講座 顎顔面口腔再建外科学分野 助教 齋藤 志都 東北大学大学院歯学研究科 病態マネジメント歯学講座 顎顔面口腔再建外科学分野 助教	
単 位	時間数	履修時期
1	15	2年前期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「口腔外科学・歯科麻酔学」（医歯薬出版）	
参 考 資 料	公益社団法人 日本口腔外科学会ホームページ (http://www.jsoms.or.jp) 口腔外科疾患診療ガイドライン、一般社団法人 日本歯科麻酔学会ホームページ (https://kokuhoken.net/jdsa) 各診療ガイドライン	
学習目標	口腔外科の診療補助の能力を習得する。ただし各項目については、診察補助の範囲を考慮する。	
学習方略	口腔外科の臨床における歯科衛生士の使命を自覚できるようにできるだけ実際の症例や診療の現状を提示する内容の講義を行う。	
学習評価	筆記試験および多肢選択式客観試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>口腔外科の概要</u>	江副 祐史	PC プロジェクター
2	<u>口腔粘膜の病変、唾液腺疾患</u>	齋藤 志都	PC プロジェクター
3	<u>顎・口腔領域の炎症性疾患、嚢胞性疾患</u>	江副 祐史	PC プロジェクター
4	<u>顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患</u>	江副 祐史	PC プロジェクター
5	<u>顎・口腔領域の先天異常と発育異常、顎変形症</u>	齋藤 志都	PC プロジェクター

6	<u>顎関節疾患、口腔領域の神経疾患、口腔顔面痛</u>	江副 祐史	PC プロジェクター
7	<u>顎・口腔領域の損傷および機能障害、インプラント</u>	森島 浩允	PC プロジェクター
8	<u>口腔外科診療の実際</u>	森島 浩允	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	江副 祐史	

全身管理学

担 当 者	東北大学大学院歯学研究科 歯科口腔麻酔学分野 医員 佐々木 詩織	
単 位	時間数	履修時期
1	15	2年前期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「口腔外科学・歯科麻酔学」第2版（医歯薬出版）	
参 考 図 書		
学習目標	歯科治療時に必要な全身管理の基本的知識を理解すること 歯科治療時の全身的偶発症発症時や救急時の対応を実践できること	
学習方略	パワーポイント資料を中心に講義を行う 講義資料を配布し、教科書と併用して学習を進める	
学習評価	筆記試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>全身管理学総論・バイタルサイン</u>	佐々木 詩織	プロジェクター スクリーン
2	<u>歯科疾患で問題となる全身疾患</u>	佐々木 詩織	プロジェクター スクリーン
3	<u>局所麻酔法</u>	佐々木 詩織	プロジェクター スクリーン
4	<u>全身麻酔法</u>	佐々木 詩織	プロジェクター スクリーン
5	<u>精神鎮静法</u>	佐々木 詩織	プロジェクター スクリーン
6	<u>歯科診療時の全身的偶発症</u>	佐々木 詩織	プロジェクター スクリーン
7	<u>救急蘇生法</u>	佐々木 詩織	プロジェクター スクリーン
	<u>筆記試験</u>		
8	<u>試験解説・まとめ</u>	佐々木 詩織	プロジェクター スクリーン

小児歯科学

担 当 者	但野 愛実 東北大学大学院歯学研究科 地域共生社会歯学講座 小児発達歯科学分野 助教		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	20	2年前期	
教 科 書	新谷誠康 編：「歯科衛生士講座 小児歯科学」（永末書店）		
参 考 図 書			
学 習 目 標	口腔疾患の発病、進行時期として重要な小児期における歯科衛生士の役割を理解し、臨床の場で対応できるような能力の基礎を総合的に学ぶ。小児の心身の発育に関する基本的知識や、小児の口腔疾患、予防法、診療補助などについて知識を習得する。		
学 習 方 略	講義		
学 習 評 価	筆記試験、出席状況、受講態度		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>小児歯科学とは</u> 小児歯科学の意義と目的、小児歯科の特徴 <u>心身の発育</u> 小児の成長発達、小児の機能の発達 情緒・社会性の発達、小児の生理的特徴	但野 愛実	プロジェクター
2	<u>頭蓋と顎の成長発育</u> 頭蓋の成長発育、顎の成長発育、成長発育の評価 <u>歯の発育と異常（1）</u> 乳歯・幼若永久歯の特徴、歯の形成、歯の形成異常	但野 愛実	プロジェクター
3	<u>歯の発育と異常（2）</u> 歯の萌出、歯の萌出異常 <u>歯列および咬合の発育と異常</u> 歯列・咬合の発育、歯列・咬合の発育異常	但野 愛実	プロジェクター
4	<u>歯科口腔保健管理</u> 母子歯科保健の意義と目的、歯科保健管理の実際 食育 <u>小児への歯科的対応</u> 小児患者の心理 小児—保護者—歯科医師・歯科衛生士の関係 歯科的対応の実際、行動変容技法	但野 愛実	プロジェクター

5	<u>小児の歯科疾患</u> う蝕、歯周疾患、軟組織疾患、唇顎口蓋裂	但野 愛実	プロジェクター
6	<u>小児歯科診療の基本</u> 小児歯科診療の流れ、診療補助の原則、 歯科診療室と器材の管理、医療安全の考え方 <u>診察・検査</u> 診断に必要な診察、診断に必要な検査と資料	但野 愛実	プロジェクター
7	<u>小児歯科における局所麻酔法</u> 局所麻酔の種類、局所麻酔の合併症および偶発症 <u>小児の歯冠修復</u> 乳歯および幼若永久歯の歯冠修復 <u>小児の歯内療法</u> 乳歯および幼若永久歯の歯内療法	但野 愛実	プロジェクター
8	<u>外科的処置</u> 乳歯の抜歯、口腔内消炎処置、薬物療法 <u>外傷の処置</u> 歯の外傷、外傷の処置、その他の外傷 <u>咬合誘導</u> 咬合誘導、保隙、能動的咬合誘導、口腔習癖への対応	但野 愛実	プロジェクター
9	<u>う蝕の予防処置と進行抑制</u> う蝕予防の考え方、細菌からみたう蝕予防 う蝕予防・口腔管理に必要な検査 食事習慣・生活習慣から見たう蝕予防 う蝕になりにくい歯をつくる 患児と保護者への小児歯科教育、う蝕の進行抑制 <u>リコール（定期健診）</u> リコールの目的、リコールの管理、時期と間隔、 診察・検査項目	但野 愛実	プロジェクター
10	<u>障害児の歯科治療</u> 障害の概念、障害とその特性、行動調整法、 摂食・嚥下機能障害	但野 愛実	プロジェクター
	<u>試験</u>	但野 愛実	

障がい者・高齢者歯科学

担 当 者	長沼 由泰 東北大学病院 障がい者歯科治療部 助教 山口 哲史 東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 加齢歯科学分野 准教授	
単 位	時 間 数	履 修 時 期
1	20	2年前期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「障害者歯科」第2版 (医歯薬出版) 全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「高齢者歯科学」(医 歯薬出版)	
参 考 図 書	日本障害者歯科学会 編：「スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯 科 第2版」(医歯薬出版) 森戸光彦・山根源之・櫻井薫・羽村章・下山和弘・柿木保明 編：「老年歯科 医学 第2版」(医歯薬出版)	
学 習 目 標	疾病を持つ高齢者および障害者のQOLを高める歯科的援助を行うために、 高齢者・障害者の全身・精神・行動・顎口腔の特徴と、これらの人々に対す る歯科医療の機能と役割および支援法を理解する。	
学 習 方 略	講義 (プリント、スライド)	
学 習 評 価	出席、期末試験、その他 (学習態度など)	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>障害の概念</u> ・ 歯科医療におけるスペシャルニーズ ・ 障害の分類 <u>地域における障害者歯科</u> ・ 障害者歯科と地域医療連携 障害者を取り巻く環境 ・ 障害者施策 関係法規	長沼 由泰	PC プロジェクター
2	<u>歯科医療で特別な支援が必要な疾患</u> ・ 知的能力障害 ・ 自閉スペクトラム症 ・ 脳性麻痺 ・ ダウン症候群 ・ てんかん ・ 医療的ケア児 ほか	長沼 由泰	PC プロジェクター

3	<u>障害者の歯科医療と行動調整</u> ・各種行動調整法 <u>リスク評価と安全管理</u> ・障害者歯科におけるリスク評価 ・障害別のリスクと対応	長沼 由泰	PC プロジェクター
4	<u>健康支援と口腔衛生管理</u> ・障害者本人や介助者が行う口腔のケアへの支援 ・専門的口腔ケア <u>摂食嚥下リハビリテーションと歯科衛生士の役割</u> ・摂食嚥下障害と口腔管理 ・小児の摂食嚥下障害への対処法	長沼 由泰	PC プロジェクター
5	<u>高齢者の歯科口腔保健 ～わが国の現状～</u>	山口 哲史	プロジェクター
6	<u>顎口腔と全身の老化・生活習慣病と老年病</u> ・個の老化 ・顎口腔の老化 ・老化と老年病	山口 哲史	プロジェクター
7	<u>社会の高齢化</u>	山口 哲史	プロジェクター
8	<u>高齢者における歯科口腔保健のリスク</u> ・顎口腔の老化と歯科口腔疾患 ・生活習慣病と歯科口腔保健	山口 哲史	プロジェクター
9	<u>高齢者の歯科診療と歯科診療補助</u>	山口 哲史	プロジェクター
10	<u>訪問歯科診療と訪問歯科保健指導</u> ・高齢者の訪問歯科診療と訪問歯科保健指導 ・介護保険における口腔ケア	山口 哲史	プロジェクター
	<u>試験</u>	山口 哲史 長沼 由泰	

口腔保健学

(口腔疾患予防処置法Ⅱ・保健指導法Ⅱ・歯科診療補助法Ⅱ)

担 当 者	専任教員／特別講師（歯科医師、歯科衛生士、他）		
	単 位	時 間	履修時期
口腔疾患予防処置法Ⅱ	2	80時間	2年
保健指導法Ⅱ	2	80時間	2年
歯科診療補助法Ⅱ	3	120時間	2年
教 科 書	歯科予防処置論・歯科保健指導論／歯科診療補助論（医歯薬出版）／歯科器械 歯科材料（医歯薬出版）／歯科医療倫理（医歯薬出版）／歯科衛生ケアプロセス 実践ガイド（医歯薬出版）		
参 考 図 書	標準歯周病学（医学書院）／ペリオドンタルインスツルメンテーション（医歯薬出版）／口腔ケア健康ガイド（学建書院）／歯科保健指導ハンドブック（医歯薬出版）／喫煙と健康（厚生労働省）／デンタルプラーク細菌（医歯薬出版）／Dental Hygiene Theory and Practice 2 nd ed.（WB Saunders）／歯ブラシ事典（学建書院）他		
一般目標（GIO）	対象となる個人、集団のニーズに応じた適切な歯科衛生行動をとるために、問題解決能力を高め、専門的な支援の実践につながる知識、技術、態度を修得する		
行動目標（SB0s）	1) 歯科用器械、材料の正確な取扱い、および管理を行う 2) 歯科治療時に必要な補助動作を行う 3) 歯周疾患の発症と進行および予防について説明する 4) 各ライフステージにおける保健行動を説明する 5) 日常の生活習慣と歯科保健との関連を述べる 6) 正確なアセスメントを行う 7) 歯科衛生診断を基に歯科衛生ケアプランを作成する 8) 各種インスツルメントを症例により選択し、正確且つ安全な操作を行う 9) 歯面及び、歯肉縁下の付着物および沈着物を除去する 10) 器具、器材のメンテナンスを行う 11) 症例検討・発表を行う		
学習方略（LS）	講義・演習・実習・グループ討議、および シミュレーション実習		
学習評価（EV）	形成的評価 チェックリスト、観察記録、簡略化 OSCE 総括的評価 前・後期末試験 基礎知識客観試験、口頭試問、レポート		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>合同実習 オリエ</u>	専任教員	
2 ～ 5	<u>総合実習(1、2年合同実習②)</u> アセスメント ・患者誘導、問診、口腔内概診 ・口腔内写真撮影および資料の取り扱いと管理 ・プラークスコア、う蝕活動性試験 実施(歯科衛生介入) ・TBI、フッ化物応用 ・栄養指導 評価 ・実施内容の評価と記録	専任教員	
6 7	<u>小集団指導法 講義</u> ・小集団指導法の特徴 ・対象集団別指導の考え方 ・教材資料、模型の使い方	専任教員	
8 ～ 23	<u>各現場活動における口腔衛生指導 演習</u> ・小学校口腔衛生指導実習 合同オリエンテーション ・指導案、教材資料作成 ・準備、リハーサル	専任教員 ／特別講師	
24	<u>小集団指導法② 演習</u> ・保健指導話法	専任教員	
25 26	<u>対象別指導法 講義・演習</u> ・歯科矯正者へのTBI	専任教員	
27 28	<u>対象別指導法 ～妊産婦～ 講義・演習</u> ・妊娠期の特徴 ・妊娠期の口腔に関する特徴 ・食生活の特徴と栄養 ・症例検討	専任教員	
29 30	<u>対象別指導法 ～青年期・成人期～ 講義・演習</u> ・青年期・成人期の歯科保健行動 ・食生活の特徴と栄養 ・歯科で行う禁煙指導とは	専任教員	

31 32	<u>対象別指導法 ～高齢者～ 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の歯科保健行動 ・ 食生活の特徴と栄養 ・ 高齢者の歯科保健の支援 ・ 高齢者の日常自立度と認知症 	専任教員 ／特別講師	
33 34	<u>対象別指導法 ～障害者～ 講義・実習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の特徴 ・ 障害者の口腔に関する特徴 ・ 歯科保健指導 ・ 栄養指導 	専任教員 ／特別講師	
35 36	<u>口腔清掃用具の検討⑤ 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 洗口剤の分類 ・ 洗口剤の効果、主な作用 	専任教員 ／特別講師	
37 38	<u>保健指導の実際② 演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 症例検討② 	専任教員	
39 40	<u>歯科診療補助時の共同動作 ～合着材 演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種合着材の取扱い、タイミング、フォーハンドテクニック 	専任教員	
41 ～ 44	<u>歯科治療時の診療補助 ～歯科口腔放射線学～</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ エックス線の基礎知識 ・ 歯科用エックス線発生装置とエックス線写真 ・ 放射線防護 ・ 歯科用エックス線撮影法（1） 	飯久保 正弘	プロジェクター
45 ～ 49	<u>歯科治療時の診療補助 ～歯科材料～</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科材料の基礎知識 歯科材料の分類、所要性質 ・ 印象材 アルジネート印象材、寒天印象材、ゴム質印象材 ・ 模型材とワックス ・ 歯科用石こう、ワックス、小テスト ・ 歯科用セメント グラスアイオノマーセメント 他 ・ 歯冠修復材料 コンポジットレジン 	岡田 正弘	プロジェクター
50 51	<u>暫間被覆冠の作製① 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既製冠を用いた作製法 ・ 暫間被覆冠の目的、製作方法、即時重合レジンの取扱い ・ 仮着材の取扱い、仮着 	専任教員	

52 ～ 54	<u>暫間被覆冠の作製② 講義・演習</u> ・直接法（モチ状レジン）、製作方法、即時重合レジンの取扱い ・仮着材の取扱い、仮着	専任教員	
55 56	<u>根管治療・根管充填時の器具器材の取扱い 講義・演習</u> ・根管治療（術式、器具器材の名称、取扱い） ・仮封材の種類、取扱い ・根管充填（術式、器具器材の名称、取扱い） ・根充材の取扱い	専任教員	
57 58	<u>根管治療・根管充填時の共同動作 実習</u> ・フォーハンドテクニック ・器具器材の受け渡し	専任教員	
59	<u>支台築造① 講義・実習</u> ・支台築造の種類（メタルコア、レジンコア） ・充填用レジンの取扱い	専任教員	
60 61	<u>支台築造② 講義・実習</u> ・メタルコア印象採得（寒天アルジネート連合印象採得）	専任教員	
62 63	<u>暫間被覆冠の作製③ 講義・演習</u> ・既製冠を用いた作製法（ポストTEK）、製作方法、即時重合レジンの取扱い ・仮着材の取扱い、仮着	専任教員	
64 65	<u>X線写真撮影法、口腔内写真撮影法 講義・実習</u> ・X線写真の利用法、撮影方法、現像法、管理方法	専任教員 ／特別講師	
66 67	<u>光学印象 講義・演習</u> ・光学印象（術式、口腔内スキャナーの取扱い）	特別講師	
68	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作 講義</u> ・鋭匙型スケーラーの種類、形態 ・鋭匙型スケーラー（グレーシータイプ）の操作方法	専任教員	
69 70	<u>歯根形態の特徴、理解の必要性 講義・演習①</u> ・歯根形態の特徴 ・歯根模型での鋭匙型スケーラーの操作 ・11/12A F探針の操作方法	専任教員	
71	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 演習①</u> ・実施部歯根形態の復習 ・上顎3～3の操作	専任教員	

72	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 演習②</u> ・実施部歯根形態の復習 ・下顎 3～3 の操作	専任教員	
73 74	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 実習①</u> ・上顎 3～3 の操作	専任教員	
75 76	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 実習②</u> ・下顎 3～3 の操作	専任教員	
77	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 演習③</u> ・実施部歯根形態の復習 ・右下 4～7 の操作	専任教員	
78	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 演習④</u> ・実施部歯根形態の復習 ・右上 4～7 の操作	専任教員	
79 80	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 実習③</u> ・右下 4～7 の操作	専任教員	
81 82	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 実習④</u> ・右上 4～7 の操作	専任教員	
83	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 演習⑤</u> ・実施部歯根形態の復習 ・左下 4～7 の操作	専任教員	
84 85	<u>シャープニングセミナー</u>	特別講師	
86	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 演習⑥</u> ・実施部歯根形態の復習 ・左上 4～7 の操作	専任教員	
87 88	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 実習⑤</u> ・左下 4～7 の操作	専任教員	
89 90	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 実習⑥</u> ・左上 4～7 の操作	専任教員	

91 92	<u>P M T C (P T C) ① 講義・演習</u> ・バイオフィルム感染症の概念 ・う蝕、歯周疾患の予防システム	専任教員	
93 94	<u>復習実習</u> ・鋭匙型スケーラー	専任教員	
95 96	<u>歯ブラシ検討（模擬患者実習）</u>	専任教員	
97	<u>生活習慣の指導（模擬患者実習）</u>	専任教員	
98 ～ 106	<u>総合実習（模擬患者実習②）事前実習</u> ・オリエンテーション アセスメント ・患者誘導、問診、口腔内概診・口腔内写真撮影 ・歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデル、口腔関連QOL モデルの応用 ・う蝕活動性試験 ・情報収集、処理 歯科衛生診断、計画立案 ・問題点の明確化と歯科衛生ケアプランの作成（簡易） 実施（歯科衛生介入） ・TBI、歯面研磨・フッ化物応用 ・栄養指導、禁煙指導 評価 ・業務記録の作成	専任教員	

107 108	<u>総合実習（模擬患者実習②）（術者）</u> アセスメント <ul style="list-style-type: none"> ・患者誘導、問診、口腔内概診・口腔内写真撮影 ・歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデル、口腔関連 QOL モデルの応用 ・う蝕活動性試験 ・情報収集、処理 歯科衛生診断、計画立案 <ul style="list-style-type: none"> ・問題点の明確化と歯科衛生ケアプランの作成（簡易） 実施（歯科衛生介入） <ul style="list-style-type: none"> ・TBI、歯面研磨・フッ化物応用 ・栄養指導、禁煙指導 評価 <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容の評価、業務記録の作成、歯科衛生ケアプロセスの展開 	専任教員 ／特別講師	
109 110	<u>総合実習（模擬患者実習②）（アシスタント）</u> アセスメント <ul style="list-style-type: none"> ・患者誘導、問診、口腔内概診・口腔内写真撮影 ・歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデル、口腔関連 QOL モデルの応用 ・う蝕活動性試験 ・情報収集、処理 歯科衛生診断、計画立案 <ul style="list-style-type: none"> ・問題点の明確化と歯科衛生ケアプランの作成（簡易） 実施（歯科衛生介入） <ul style="list-style-type: none"> ・TBI、歯面研磨・フッ化物応用 ・栄養指導、禁煙指導 	専任教員 ／特別講師	
111 ～ 116	<u>総合実習（模擬患者実習②）</u> 症例検討（プレゼンテーション） 歯科衛生ケアプロセスの展開	専任教員	
117 ～ 120	<u>各現場活動における口腔衛生指導 演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいへの理解 ・障がいのある方への対応の基本 ・様々なコミュニケーション方法を学ぶ 	専任教員	
121 ～ 130	<u>総合実習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーハンドテクニック ・トレーセッティング ・1人バキューム操作 ・スケーリング、歯面研磨 ・概形印象採得 ・セメント練和、仮封 	専任教員	

131	<u>保健指導の実際③ 演習</u>	専任教員	
132	・症例検討③		
	<u>実技試験（簡略化臨床能力試験）</u>	専任教員	
	・オリエンテーション		
	<u>実技試験（簡略化臨床能力試験）</u>	専任教員	
	<u>臨床実習 事前準備・まとめ</u>	専任教員	
	・オリエンテーション		
	・実習のまとめ（申し送り書作成）		
133	<u>歯科治療時の診療補助 ～介護技術～</u>	渡邊 生恵	
～	・日常生活動作を援助する（講義・演習）		
136	・介護技術（演習）		
	<u>実技試験（鋭匙型スケーラーの基本操作）</u>	専任教員	
	・オリエンテーション		
	<u>実技試験（鋭匙型スケーラーの基本操作）</u>		
137	<u>口腔衛生管理 演習①</u>	専任教員	
138	・スポンジブラシ		
139	<u>口腔衛生管理 演習②</u>	専任教員	
140	・吸引器		
	<u>期末試験</u>	専任教員	
	・筆記		

口腔保健学 ～歯科衛生ケアプロセス～

担 当 者	小原 由紀 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任		
単 位	時間数	履修時期	
1	15	2年前期	
教 科 書	佐藤 陽子、齋藤 淳 編著「歯科衛生ケアプロセス 実践ガイド」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	Darby ML, Wash MM. 「Dental Hygiene Theory and Practice. 4th ed.」 (W. B. Saunders) 「歯科衛生ケアプロセス」(医歯薬出版)		
一般目標 (GIO)	対象者のニーズに応じた歯科衛生ケアを意図的に、科学的に実施するために、歯科衛生ケアプロセスの基本的知識・技術・態度を修得する		
行動目標 (SBOs)	1) 歯科衛生ケアプロセスの概念と構成要素について説明する 2) 収集した情報をクリティカル思考を用いて処理し、歯科衛生診断を行う 3) 保健行動や歯科衛生理論の計画立案における意義を説明する 4) 歯科衛生診断に基づいた歯科衛生ケアプランをデザインする 5) 歯科衛生理論、概念モデルの基本的事項を説明する		
学習方略 (LS)	講義・演習・スモールグループ討議		
学習評価 (EV)	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>歯科衛生ケアプロセスの概要</u> ・ 歯科衛生ケアプロセスの必要性 ・ 歯科衛生ケアプロセスの構成要素	小原 由紀	PC プロジェクター
2	<u>アセスメント1</u> ・ 情報の種類と記録 ・ 情報の処理	小原 由紀	PC プロジェクター
3 4	<u>アセスメント2</u> ・ 情報からの臨床推論 ・ 保健行動の理論や概念モデルへの応用	小原 由紀	PC プロジェクター
5 6	<u>歯科衛生診断</u> ・ 歯科衛生診断、問題の明確化 ・ 歯科衛生診断文の書き方	小原 由紀	PC プロジェクター
7	<u>計画立案</u> ・ 計画立案の考え方 ・ 目標と期待される効果	小原 由紀	PC プロジェクター

8	<u>実施</u> ・優先順位の検討 ・歯科衛生業務記録の記載	小原 由紀	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	教務主任	

感染予防学

担 当 者	※江草先生依頼中		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	1 5	2 年 前 期	
教 科 書			
参 考 図 書			
学 習 目 標			
学 習 方 略			
学 習 評 価			

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1			
2			
3			
4			

5			
6			
7			
8			

医学一般・臨床検査法

担 当 者	坪井 明人 東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 加齢歯科学分野 臨床教授 佐藤 修一 東北大学病院 歯科顎口腔外科 元講師	
単 位	時間数	履修時期
1	20	2年前期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「臨床検査」 (医歯薬出版)	
参 考 図 書	講義内で提示する	
一般目標 (GIO)	歯科における臨床検査の補助を適切に行うため、臨床検査の意義、諸検査に必要な知識、検体の取扱いについて修得する。	
行動目標 (SBOs)	1) 歯科における臨床検査の必要性を説明する 2) 各検体からどのような情報が得られるかを説明する 3) 各検査を行う意義・注意点を説明する 4) 各検査結果から全身状態を読みとく	
学習方略 (LS)	講義、レポート	
学習評価 (EV)	出席状況、試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>付章の主な疾患・病態別疾患検査値の捉え方と 口腔疾患の解説</u>	佐藤 修一	PC プロジェクター
2	<u>第4章の口腔領域の臨床検査の説明とデモ</u>	佐藤 修一	PC プロジェクター
3	<u>臨床検査と歯科衛生士の役割</u> <u>生理機能検査 ①バイタルサインに関わる基本の検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター
4	<u>生理機能検査 ②心機能検査</u> <u>③肺機能検査</u> <u>④閉塞性睡眠時無呼吸の検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター

5	<u>血液学的検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター
6	<u>感染症の検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター
7	<u>肝機能の検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター
8	<u>腎機能の検査</u> <u>糖尿病の検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター
9	<u>代謝・内分泌疾患の検査</u> <u>免疫・血清学的検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター
10	<u>病理学的検査</u> <u>画像検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	坪井 明人 佐藤 修一	

口腔リハビリテーション I

担 当 者	小原 由紀 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任 専任教員	
単 位	時間数	履修時期
1	15	2年後期
教 科 書	日本歯科衛生士会 監：「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第3版」 全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「高齢者歯科学」 (医歯薬出版)	
参 考 図 書	才藤栄一・植田耕一郎 監：「摂食嚥下リハビリテーション 第3版」(医歯薬出版)	
一般目標 (G10)	摂食嚥下障害を有する対象者および高齢者へ適切な歯科衛生ケアを行うため、摂食嚥下指導および口腔衛生管理の基本的な知識・技術・態度を修得する	
行動目標 (SBOs)	1) 摂食嚥下障害の概要を説明する 2) 摂食・咀嚼・嚥下に関わる解剖、生理について説明する 3) 摂食・咀嚼・嚥下機能の発達過程を説明する 4) 口腔健康管理 (口腔機能管理・口腔衛生管理) を理解し、実施する	
学習方略 (LS)	講義・スモールグループ討議・演習	
学習評価 (EV)	口頭試問 観察記録 レポート 客観試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1 2	口腔機能発達不全症とは 口腔機能低下症とは 口腔機能精密検査	小原 由紀	PC プロジェクター
3 4	口腔機能管理の実際 ケース検討	小原 由紀	PC プロジェクター
5 6	<u>摂食・咀嚼・嚥下機能と QOL</u> ・口腔健康管理の必要性 ・摂食嚥下障害とは ・食べるメカニズムを考える	小原 由紀	PC プロジェクター
7 8	<u>摂食嚥下機能の評価</u> ・嚥下スクリーニング検査 (実習) ・嚥下調整食品の活用方法 ・食事介助	小原 由紀	PC プロジェクター

国際コミュニケーション

担 当 者	小原 由紀 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任 専任教員	
単 位	時間数	単 位
1	30	1
教 科 書	配布プリントを使用	
参 考 図 書	1. Wineberg MA et al. 「Comprehensive Periodontics for the Dental Hygienist, 4th ed.」 (Prentice Hall) 2. Darby ML, Walsh MM. 「Dental Hygiene -Theory and Practice-, 4th ed.」 (Elsevier Saunders) 3. Wilkins EM. 「Clinical Practice of the Dental Hygienist, 12 th ed.」 (Lippincott Williams & Wilkins)	
学 習 目 標	一般目標 (GIO) 歯科衛生士が生涯を通して学習、研鑽を行うための一助として、歯科医療に関連した基本的な英語力を修得する。 行動目標 (SBOs) 1) 英文ホームページや文献から必要な情報を収集する。 2) 国際交流に必要なコミュニケーションの基本を実践する。	
学 習 方 略	1) 講義 2) 配布資料、参考図書、ビデオ等の利用	
学 習 評 価	1) 授業参加状況 2) 海外研修への参加	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>国際交流におけるコミュニケーションの重要性</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
2 ~5	<u>日本の紹介、学校紹介、自己紹介の実際</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
6 ~9	<u>日本の歯科衛生士について</u>	専任教員	PC プロジェクター
10 ~13	<u>諸外国における歯科事情</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
14 ~30	<u>諸外国の環境、社会的背景を学ぶ</u> ・ 諸外国における歯科衛生士教育 ・ 学生間交流	専任教員	

研究

担 当 者	小原 由紀 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任	
単 位	時間数	履修時期
1	30	2年前・後期
教 科 書	指定なし	
参 考 図 書	日本歯科衛生学会監修：「歯科衛生研究の進め方 論文の書き方 第3版」 (医歯薬出版) 谷口英喜著：「はじめてとりくむ研究発表・論文作成」(医歯薬出版)	
一般目標 (G10)	科学的根拠に基づいた歯科衛生行動をとるために、歯科衛生、歯科臨床に関する課題を自ら見出し、研究を行い、論文として作成するための基本的な知識、技術、態度を修得する	
行動目標 (SBOs)	1. データを分析し、研究成果を発表する 2. リサーチ・クエスチョンに沿った研究計画を立案する 3. システマティックレビューを作成する	
学習方略 (LS)	講義・演習	
学習評価 (EV)	出席状況、提出物	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>歯科衛生士と研究</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
2	<u>研究のプロセス</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
3	<u>研究成果の公表と研究倫理</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
4 ~6	<u>文献検索・文献カードの作成</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
7	<u>文献レビューの目的と方法</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
8 ~13	<u>文献レビューの実施と研究成果物の作成</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
14 ~15	<u>研究発表 (プレゼンテーション)</u>	小原 由紀	PC プロジェクター

第 3 学 年

令和 6 年度入学生（ 第 5 5 回生 ）

令和6年度入学生（第55回生）教育課程

教育内容	該当科目	単位数	時間数	第1学年		第2学年		第3学年	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎分野				10	160				
科学的思考の基盤・人間と生活	自然科学・人文科学・社会学	化学	1	15	●				
		生物学の基礎	1	15	●				
		数学統計の基礎	1	15			●		
		社会倫理学	1	15			●		
		情報科学	1	20	●				
	外国語	実践英語	1	15	●				
		歯科英語	1	15			●		
	コミュニケーション学	行動科学	1	20					●
	心理学	2	30	●	●				
専門基礎分野				22	355				
人体の構造と機能	人体構造学	解剖学	2	30	●				
		組織・発生学	1	20		●			
	人体機能学（生理学）	2	30		●				
歯・口腔の構造と機能	生物物質・口腔の化学（生化学）		1	20	●				
	口腔構造学	口腔解剖学	2	30	●	●			
		歯牙解剖	1	20	●				
疾病の成り立ちと回復過程の促進	病理学・口腔病理学		2	30		●			
	薬理学・歯科薬理学		2	30		●			
	微生物学・口腔微生物学		2	30		●			
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学	口腔衛生	1	20	●				
		公衆歯科衛生・歯科衛生統計	2	30		●			
	衛生学・公衆衛生学		1	20	●				
	カリオロジー学		1	15				●	
	衛生行政・社会福祉		2	30			●		
専門分野				64	2225				
歯科衛生士概論	歯科衛生士概論		2	30	●	●			
臨床歯科医学	歯・歯髄疾患論	保存修復学	1	20		●			
		歯内療法学	2	30		●			
	歯周疾患論	歯周療法学Ⅰ	2	30		●			
		歯周療法学Ⅱ	2	40					●
	咀嚼障害・咬合異常論	歯科補綴学Ⅰ	1	15		●			
		歯科補綴学Ⅱ	1	15		●			
		歯科矯正学	1	15		●			
	顎口腔疾患論	口腔外科学	1	20		●			
	小児歯科学		1	20		●			
障がい者・高齢者歯科学		1	20		●				
予防処置論	口腔保健学	口腔疾患予防処置法Ⅰ	4	160	●	●			
		口腔疾患予防処置法Ⅱ	2	80			●	●	
		口腔疾患予防処置法Ⅲ	2	80					● ●
歯科保健指導論	口腔保健学	保健指導法Ⅰ（含 栄養指導）	3	120	●	●			
		保健指導法Ⅱ	2	80		●	●		
		保健指導法Ⅲ（含 関連医学）	2	80					● ●
		歯科衛生ケアプロセスⅠ	1	15		●			
歯科診療補助論	口腔保健学	歯科衛生ケアプロセスⅡ	1	15		●			
		歯科診療補助法Ⅰ	3	120	●	●			
		歯科診療補助法Ⅱ（含 歯科材料、歯科放射線学、介護技術）	3	120			●	●	
		歯科診療補助法Ⅲ	3	120					● ●
		感染予防学	1	15			●		
臨床検査法	1	20			●	●			
臨地・臨床実習	臨地・臨床実習Ⅰ		2	90	●	●			
	臨地・臨床実習Ⅱ		8	360			●	●	
	臨地・臨床実習Ⅲ		11	495					● ●
必修隣接分野				15	359				
総合科目（健康と教養）	看護学Ⅰ		1	15		●			
	看護学Ⅱ		1	15					●
	摂食・咀嚼・嚥下指導		2	40					● ●
	病院管理学（社会保険・請求事務、歯科マネジメント）		1	15					●
	総合歯学		5	104					●
研究	海外研修		2	90			●	●	
	研究Ⅰ		1	20		●			
	研究Ⅱ		1	30			●	●	
	研究Ⅲ		1	30					● ●
総計		111	3099	470	525	550	500	620	434
				995		1050		1054	

基礎分野

コミュニケーション学～行動科学～（3年次）

専門基礎分野

カリオロジー学

専門分野

歯周療法学Ⅱ

口腔疾患予防処置法Ⅲ・保健指導法Ⅲ（含関連医学）・歯科診療補助法Ⅲ . . .

必修隣接分野

看護学Ⅱ

摂食・咀嚼・嚥下指導（3年次）

病院管理学（社会保険・請求事務・歯科マネジメント）

総合歯学

研究Ⅲ

コミュニケーション学 ～行動科学～

担 当 者	木村 陽子 有限会社 ビューロコンパス 小原 由紀 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任	
単 位	時間数	履修時期
1	20	3年後期
教 科 書	必要に応じ講義資料を配付する。	
参 考 図 書	佐藤陽子・齋藤淳、他 編：「歯科衛生ケアプロセス」（医歯薬出版）	
学習目標	人の健康や病は、ライフスタイルに深く関係しているため、医療従事者は人の行動特性を理解する必要がある。患者や自分の気持ちを理解し良い人間関係を築けることができるようになるために、臨床現場での応用を意識したコミュニケーション法に関する知識、技能を修得する。	
学習方略	講義、グループ実習	
学習評価	試験、レポート、グループ発表	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>自己理解と他者理解、タイプ分けを通して特性を考える</u>	木村 陽子	プロジェクター
2	<u>医療におけるコーチングの役割</u>	木村 陽子	プロジェクター
3	<u>傾聴～興味をもって聴くこと</u>	木村 陽子	プロジェクター
4	<u>承認～相手の行動を認めること</u>	木村 陽子	プロジェクター
5	<u>質問～効果的な問いかけ</u>	木村 陽子	プロジェクター
6	<u>口腔保健行動と行動科学</u>	小原 由紀	

7	<u>歯科臨床での面接技法～ロールプレイ～</u>	小原 由紀	
8	<u>口腔保健における行動変容理論の応用</u>	小原 由紀	
9	<u>歯科保健指導とヘルスリテラシー</u>	小原 由紀	
10	<u>歯科臨床における禁煙支援の実際</u>	小原 由紀	
	<u>試験</u>	木村 陽子 小原 由紀	

カリオロジー学

担 当 者	高橋 信博 東北大学大学院歯学研究科 特任教授 東北大学 総長特別補佐 丹田 奈緒子 東北大学大学院歯学研究科 地域共生社会歯学講座 予防歯科学分野 非常勤講師 中條 和子 神奈川県小田原保健福祉事務所 保健福祉部 保健福祉課 課長 土門 ひと美 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 口腔生化学分野 非常勤講師		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	16	3年前期	
教 科 書	必要に応じて資料配付		
参 考 図 書	これまでに学んだ各教科書を参考にする。		
学 習 目 標	これまでに学んだう蝕に関する各事項を統合し「カリオロジー（う蝕学）」として理解する。		
学 習 方 略	これまでに学んだう蝕に関するさまざまな事項を、う蝕学の専門家によるオムニバス講義を通して有機的に連結し、理解を深めるとともに専門性を高める。		
学 習 評 価	各教員毎（授業毎ではなく）に400字以上でレポート（授業概要及び授業への感想・意見）を提出してもらい、各教員がA・A・B・C・D評価を行う。各評価を、講義コマ数を考慮の上、事務的に総合（数値化して合算）することで、本授業評価とする。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	備 考
1	<u>口腔のエコロジーからみたカリオロジー（1）</u> — 口腔というユニークな環境を知ろう — 口腔を、多様で膨大な数の細菌が共生する「口腔生態系」として捉え、そこで生ずるプラークの形成、プラーク構成細菌の種類と代謝活性、唾液の作用について、エコロジー（生態学）の視点から理解する。	高橋 信博	口腔生化学

2	<p><u>口腔のエコロジーからみたカリオロジー（２）</u> <u>ー う蝕の起こる仕組みを知ろう ー</u></p> <p>う蝕は「口腔生態系」の破綻、すなわち脱灰・再石灰化のバランスが脱灰に傾いた結果として生ずること、それとともにプラーク構成細菌が変化することでう蝕が促進していくことを、エコロジー（生態学）の視点から理解する。</p>	高橋 信博	口腔生化学
3	<p><u>食生活からみたカリオロジー</u></p> <p>う蝕の発生は食生活習慣、ことに間食習慣の乱れによって起こるので、その原因を理解し、それを通じて、う蝕予防指導を適切に行うためにはどのようにしたらよいかを理解する。</p>	高橋 信博	口腔生化学
4	<p><u>歯科臨床的見地からみたカリオロジー</u></p> <p>歯科健康診断にてう蝕の診断を行った場合は、その状態に合わせて事後支援を実施する。その際に必要なリスクの判断と情報の解釈に関して理解する。</p>	丹田 奈緒子	予防歯科学
5	<p><u>小児歯科からみたカリオロジー</u></p> <p>乳歯と永久歯の特徴の違い（う蝕の特徴）の復習を通して、ライフステージにあった口腔管理を考える。さらに、小児期のカリエスの統計の読み取りを行い、実際に行われている自治体の取り組みを知る。</p>	土門 ひと美	小児歯科学
6	<p><u>フッ化物応用とカリオロジー（１）</u></p> <p>フッ化物は自然界に広く存在し、ヒトにとって身近な元素のひとつであることを知るとともに、フッ化物を安全に利用するために必要な事項、とくに全身に対する作用（急性および慢性毒性）について理解する。</p>	中條 和子	口腔生化学
7	<p><u>フッ化物応用とカリオロジー（２）</u></p> <p>フッ化物の歯に対する作用（歯質強化、再石灰化促進）、および口腔細菌に対する作用（酸産生抑制）と、そのメカニズムを理解し、さらにう蝕予防の為のフッ化物応用法へ理解を繋げる。</p>	中條 和子	口腔生化学
8	<p><u>代用甘味料の使用によるう蝕予防</u></p> <p>間食がう蝕の発生に大きな影響を及ぼすからには、間食（歯垢 pH 低下）の頻度を減らすことがう蝕予防の重要な手段となる。適切なう蝕予防指導を行うために、使用されるキシリトールなど種々の代用甘味料のう蝕誘発性、物理化学的性質、生体への為害作用などを理解、考察する。</p>	高橋 信博	口腔生化学

歯周療法学Ⅱ

担 当 者	玉澤 かほる 東北大学病院 歯周病科 元講師 専任教員		
単 位	時間数	履修時期	
2	40	3年前期	
教 科 書	日本歯周病学会 編：「歯科衛生士のための歯周治療ガイドブック」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	沼部幸博、齋藤淳、梅田誠 編：「歯科衛生士講座 歯周病学 第5版」（永末書店）		
学習目標	歯周病治療における歯科衛生士としての役割を理解して、歯周診査をもとに口腔ケアプランを作成し、口腔清掃指導やスケーリング・ルートプレーニングおよびメンテナンスが実践的に行えるようにする。また、模擬患者実習を行い、各自の症例について、パソコンを使用してプレゼンテーションができるようにする。		
学習方略	講義、顎模型による実習、学生相互実習、模擬患者実習、ケースプレゼンテーション		
学習評価	出席状況、学習態度、筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>オリエンテーション</u> <u>歯周療法学Ⅱの概要</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬患者実習に必須の知識・手技（事前学習と準備） ・ 模擬患者実習 1回目、2回目 ・ ケースプレゼンテーション <u>歯周病の分類：歯肉炎、歯周炎、咬合性外傷</u> <u>病因の分類：初発因子（プラーク）、増悪因子</u> <u>プロフェッショナルケア・セルフケア</u>	玉澤 かほる	プロジェクター
2 3	<u>歯肉の炎症・炎症性因子の診査（学生相互実習）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯肉の診査（色、形、表面性状） ・ プラーク蓄積因子 <u>歯周組織破壊の診査（学生相互実習）</u> プロービングデプス（PD） プロビング時の出血（BOP） 歯の動揺度、アタッチメントレベル、 根分岐部病変、歯間離開度	玉澤 かほる	

4 5	<u>咬合性外傷</u> <ul style="list-style-type: none"> ・エックス線写真による診査・読影・スケッチ 歯槽骨吸収のタイプと程度、歯根膜腔拡大、 歯槽硬線（白線）の状態、歯石、根分岐部病変 ・早期接触の診査 ・外傷性因子の診査 ブラキシズム、食片圧入、舌と口腔の悪習癖 	玉澤 かほる	プロジェクター
6 7	<u>プラークコントロール（学生相互実習）説明媒体使用</u> <ul style="list-style-type: none"> ・プラークコントロールレコード（PCR） ・動機づけ、患者教育 ・口腔清掃指導（TBI） 歯ブラシ ワンタフトブラシ、歯間ブラシ、フロス 	玉澤 かほる	プロジェクター
8	<u>スケーリング&スケーリング・ルートプレーニング</u> <ul style="list-style-type: none"> ・スケーリング（SC） ・スケーリング・ルートプレーニング（SRP） ・超音波スケーラーの特徴・使用法 ・鎌型スケーラーの特徴・使用法 ・グレーシーキュレットの特徴・使用法 ・シャープニングの目的と方法 	玉澤 かほる	プロジェクター
9 10	<u>スケーリング・ルートプレーニング（学生相互実習）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・グレーシーキュレットによるSRP ポジショニング 口腔内での固定 キュレットの選択と操作 観血的処置の認識とリスク管理 歯肉への配慮 痛みへの配慮 	玉澤 かほる ／専任教員	
11 12	<u>模擬患者実習 1 回目（説明媒体使用）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・問診、口腔内概診、口腔内写真撮影 ・歯周組織精密検査 ・検査結果の説明 ・縁上プラークコントロール（患者教育、TBI、SC） ・歯面研磨 	玉澤 かほる ／専任教員	
13	<u>診断と治療計画立案</u> <ul style="list-style-type: none"> ・歯周診査・診断・治療計画 ・歯周基本治療 ・メンテナンス ・サポータティブペリオドンタルセラピー ・歯周病における矯正治療 	玉澤 かほる	プロジェクター

14 15	<u>模擬患者実習 2 回目（説明媒体使用）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問診、口腔内概診、口腔内写真撮影 ・ 歯周組織精密検査 ・ 1 回目実習成果の評価&説明 ・ 縁下プラークコントロール (グレーシーキュレットによるSRP) ・ 歯面研磨 	玉澤 かほる ／専任教員	
16	<u>歯周病の病型</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯肉炎、歯周炎、咬合性外傷 ・ 歯肉退縮、膿瘍、歯周一歯内病変 ・ 根分岐部病変 ・ 全身疾患と歯周病（喫煙、糖尿病、服用薬など） ・ 歯周治療後の歯周組織 ・ インプラント周囲疾患 	玉澤 かほる	プロジェクター
17 18	<u>ケースプレゼンテーション（1）</u> <u>模擬患者実習 1 回目</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯周診査結果と診断 ・ 病因の分析、問題点の抽出 ・ 介入方法、セルフケアの改善案 	玉澤 かほる ／専任教員	プロジェクター
19 20	<u>ケースプレゼンテーション（2）</u> <u>模擬患者実習 2 回目</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯周診査結果と診断 <u>模擬患者実習 1 回目と 2 回目の比較</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介入効果・セルフケア効果の分析 ・ 問題点の再評価 ・ まとめ・今後の課題 	玉澤 かほる ／専任教員	プロジェクター
	<u>試験</u>	玉澤 かほる	

口腔保健学

(口腔疾患予防処置法Ⅲ・保健指導法Ⅲ・歯科診療補助法Ⅲ)

担 当 者	専任教員／特別講師（歯科医師、歯科衛生士、他）		
	単 位	時 間	履修時期
口腔疾患予防処置法Ⅲ	2	80時間	3年
保健指導法Ⅲ	2	80時間	3年
歯科診療補助法Ⅲ	3	120時間	3年
教 科 書	歯科予防処置論・歯科保健指導論／歯科診療補助論（医歯薬出版）／歯科器械の知識と取り扱い／歯科材料の知識と取り扱い／ 歯科医療倫理（医歯薬出版）／歯科衛生ケアプロセス 実践ガイド（医歯薬出版）		
参 考 図 書	標準歯周病学（医学書院）／ペリオドンタルインスツルメンテーション（医歯薬出版）／口腔ケア健康ガイド（学建書院）／歯科保健指導ハンドブック（医歯薬出版）／喫煙と健康（厚生労働省）／デンタルプラーク細菌（医歯薬出版）／Dental Hygiene Theory and Practice 2 nd ed.（WB Saunders）／歯ブラシ事典（学建書院）他		
一般目標（GIO）	対象となる個人、集団のニーズに応じた適切な歯科衛生行動をとるために、問題解決能力を高め、専門的な支援の実践につながる知識、技術、態度を修得する		
行動目標（SBOs）	1) 診療室における偶発事故の防止あるいは緊急時の対応をする 2) 公衆衛生における歯科保健行動を理解し、適切な支援を実施する 3) 歯科衛生ケアプランをもとに、歯科衛生介入を実施・評価する 4) 業務記録を作成する 5) 対象者中心、包括的な歯科衛生ケアについて考察する		
学習方略（LS）	講義・演習・実習・グループ討議、および シミュレーション実習		
学習評価（EV）	形成的評価 チェックリスト、観察記録、簡略化 OSCE 総括的評価 前・後期末試験 基礎知識客観試験、口頭試問、レポート		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1 ～ 6	<u>口腔衛生管理 演習①</u> ・ 摂食咀嚼嚥下に関連するレポート作製	専任教員	
7 ～ 10	<u>口腔衛生管理 演習②</u> ・ 健口体操 教材資料作製	専任教員	
11 ～ 26	<u>口腔衛生管理 実習</u> ・ 車椅子上での口腔ケア ・ 臥床での口腔ケア	専任教員	
27 ～ 34	<u>口腔衛生管理 演習③</u> ・ 症例検討、プレゼン作成 ・ ケースプレゼンテーション	専任教員	
35 ～ 37	<u>暫間被覆冠の作製④ 講義・演習</u> ・ 印象法（ブリッジ）、製作方法、即時重合レジン of 取扱い ・ 仮着材の取扱い、仮着	専任教員	
38 ～ 41	<u>対象別指導法 ～新生児期、乳幼児期～ 講義・演習</u> ・ 新生児期、乳幼児期の特徴 ・ 新生児期、乳幼児期の口腔に関する特徴 ・ 症例検討	専任教員	
42 ～ 45	<u>臨床実習 事前準備・まとめ</u> ・ オリエンテーション ・ 実習のまとめ（申し送り書作成）	専任教員	
46 ～ 58	<u>総合実習</u> ・ セメント練和、仮封（2） ・ 寒天、アルジネート連合印象（2） ・ 歯面研磨（2） ・ 口腔内写真撮影（2） ・ 超音波スケーラーの操作、1人バキューム（2） ・ スタディモデル作製：ホワイトニングセミナー用（3）	専任教員	
59 ～ 62	<u>総合実習（模擬患者実習）</u> ・ 事前実習（鎌型、鋭匙型スケーラー復習実習）	専任教員	
63 ～ 76	<u>総合実習（模擬患者実習）</u> ・ 模擬患者実習オリエンテーション ・ プレゼン事前講義 ・ 模擬患者実習資料作成 ・ 業務記録、ケアプロセスの展開 ・ プレゼン資料作成	専任教員／ 特別講師	

77 ～ 80	<u>多職種連携協働について 演習</u> ・多職種連携とは ・地域包括ケアシステムにおける多職種連携 ・グループディスカッション・発表	専任教員	
81 ～ 84	<u>高齢者に対する歯科保健活動 演習</u> ・歯学部歯学科学生との合同授業 ・グループディスカッション・発表	専任教員	
85	<u>全身と口腔領域の関連①</u>	佐々木 詩織	
86	<u>全身と口腔疾患の関連②</u>	佐々木 詩織	
87	<u>歯科麻酔分野総まとめ</u> <u>(バイタルサインから救急蘇生まで)</u>	佐々木 詩織	
88	<u>実践的な問題演習および解説</u>	佐々木 詩織	
89	<u>保育園における口腔衛生指導の実際</u> ・オリエンテーション	専任教員	
90 ～ 105	<u>各現場活動における口腔衛生指導 演習（保育園実習）</u> ・指導案、教材資料作成 ・準備、リハーサル	専任教員	
106	<u>就職特別講義 1</u>	木村 陽子	
107	<u>就職特別講義 2</u>	特別講師	
	<u>実技試験、基礎知識客観試験</u>	専任教員	
108 ～ 110	<u>歯周疾患病状説明のためのグループワーク</u>	専任教員	
	<u>実技試験（簡略化臨床能力試験）</u>	専任教員	

111	<u>症例検討～プレゼンテーション</u>	専任教員	
112	・摂食咀嚼嚥下指導 臨地実習症例検討会		
113	<u>総復習講義</u>	専任教員	
～	・歯科診療補助 ・歯科予防処置 ・歯科保健指導		
126	・う蝕予防処置 ・摂食咀嚼嚥下指導 ・栄養指導		
	<u>卒業認定試験</u>	専任教員	
127	<u>周術期口腔機能管理における歯科衛生士の役割</u>	特別講師	
128	<u>歯科訪問診療における歯科衛生士の役割</u>	特別講師	
129	<u>介護保険施設における口腔健康管理の実際</u>	特別講師	
130	<u>歯科医療現場における感染予防</u>	特別講師	
131	<u>インプラント患者における口腔健康管理</u>	専任教員	
132	<u>義歯のケアと Tooth Wear への対応</u>	特別講師	
133	<u>ホワイトニング</u>	特別講師	
134			
135	<u>総合実習（卒前実習）</u>	専任教員	
～		／特別講師	
140			

看護学Ⅱ

担 当 者	菅原 千恵子 東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科 准教授	
単 位	時間数	履修時期
1	15	3年後期
教 科 書	必要な資料を作成、配付します	
参 考 図 書	藤崎 郁、他 編：「看護学概論」「基礎看護学」（医学書院） 秋山正子、他 編：「地域・在宅看護論」（医学書院） 鈴木和子・渡辺裕子 著：「家族看護学」（日本看護協会出版社）	
学習目標	医療従事者に必要な「健康」「福祉」「人」「生活」「看護」についての概要を知り、対象に適切な援助を行うための一助にすることができる	
学習方略	講義、グループワーク、発表	
学習評価	授業内での記述物・グループワーク参加度・授業態度、および試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>保健・医療・福祉と健康</u> 保健・医療・福祉の動向 健康と病気、くらし・生活とは	菅原 千恵子	PC
2	<u>対象となる人の理解</u> 成長・発達概念（発達理論の概観、発達課題） ニード理論、発達システム理論、ストレス理論	菅原 千恵子	PC・DVD
3	<u>健康上のニードをもつ対象の理解と看護</u> 健康障がいの過程 急性期、慢性期、回復期、終末期＝ターミナル	菅原 千恵子	PC
4	<u>ターミナルケア、緩和ケア</u> 人の生と死、がんについて ターミナルケア、緩和ケア、看取り、グリーフケア	菅原 千恵子	PC・DVD
5	<u>在宅ケアと家族支援</u> 家族とは、家族支援とは、 在宅ケア、介護予防、チーム医療、多職種連携、 自助・互助・共助・公助、地域包括ケアシステムについて	菅原 千恵子	PC

6	<u>事例検討（グループワーク）</u> 高齢者の口腔ケア A事例、8歳児の口腔ケア	菅原 千恵子	
7	<u>事例検討発表</u> <u>（口腔ケア指導計画と初期介入のロールプレイング）</u> グループ毎、質疑応答含む	菅原 千恵子	
8	<u>まとめ</u> これからの日本における健康問題 （高齢者を取り巻く問題、子育て支援に関する問題含む）	菅原 千恵子	PC
	<u>試験</u>	菅原 千恵子	

摂食・咀嚼・嚥下指導

担 当 者	佐藤 房郎 東北保健医療専門学校 校長（理学療法士） 白石 成 東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 口腔システム補綴学分野 講師（歯科医師） 渡邊 弘人 仙台青葉学院短期大学 言語聴覚学科（言語聴覚士） 加藤 健吾 かとう耳鼻咽喉・嚥下クリニック 院長（医師） 小原 由紀 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任（歯科衛生士）		
単 位	時間数	履修時期	
2	32	3年前期・後期	
教 科 書	日本歯科衛生士会 監：「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第2版」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	Logemann 摂食・嚥下障害（医歯薬出版）、摂食・嚥下のメカニズム（CD-ROM）（医歯薬出版）、脳卒中の摂食・嚥下障害（医歯薬出版）、食べる機能を回復する口腔ケア（医歯薬出版）、乳幼児の摂食指導（医歯薬出版）、高齢者・障害者の「食」の援助プログラム（医歯薬出版）、介護のための口腔保健マニュアル（医歯薬出版）、歯科衛生ケアプロセス（医歯薬出版）、事例でわかる摂食・嚥下リハビリテーション（中央法規）		
一般目標（GIO）	摂食嚥下障害を有する対象者および高齢者へ適切な歯科衛生ケアを行うため、摂食嚥下指導および専門的口腔ケアの基本的な知識・技術・態度を修得する		
行動目標（SBOs）	1) 摂食嚥下障害の概要を説明する 2) 摂食・咀嚼・嚥下に関わる解剖、生理について説明する 3) 摂食・咀嚼・嚥下機能の発達過程を説明する 4) 摂食嚥下リハビリテーションについて説明する 5) 摂食嚥下障害のアセスメント方法を説明し、実施する 6) 専門的口腔ケア（器質的、機能的）を理解し、実施する 7) 生活の質（QOL）の向上につながる歯科衛生ケアについて考察する 8) 摂食嚥下リハビリテーションにおけるチームアプローチと、歯科衛生士の役割について考察する 9) 歯科衛生ケアプロセスの展開を行う		
学習方略（LS）	講義・スモールグループ討議・演習・（臨地実習）		
学習評価（EV）	口頭試問 観察記録 レポート 客観試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1 2	<u>摂食嚥下障害と原疾患</u> ・咀嚼・嚥下に関する筋および神経支配と生理的機能 ・脳神経障害と嚥下障害	白石 成	
3 4	<u>摂食嚥下障害に必要な口腔機能の基礎知識</u> ・全身状態の把握 ・スクリーニングの考え方	白石 成	
5 6	<u>リハビリテーションの実際（講義・演習）</u> ・嚥下活動を運動学的に理解する ・嚥下の運動発達 ・嚥下と姿勢の関連性	佐藤 房郎	
7 8	<u>歯科衛生士の行う専門的口腔ケア</u> ・歯科衛生士の行う専門的口腔ケアの考え方	小原 由紀	
9 10	<u>咀嚼の意義</u> ・咀嚼と食塊形成と運動機能 ・残存歯と咀嚼の効率 ・義歯と咀嚼 ・咀嚼機能の評価 <u>摂食嚥下リハビリテーションの概念</u> ・事例から学ぶ	白石 成	
11 12	<u>摂食嚥下機能のアセスメント</u> ・スクリーニング検査の概要 ・訓練の必要性和検査の実際 <u>摂食嚥下の基礎訓練</u> ・直接訓練法、間接訓練法 ・口腔内輸送を改善させるための訓練 構音、発声訓練、呼吸訓練	渡邊 弘人	・聴診器 ・紙コップ (2ヶ) ・飲料(350ml) ・シリンジ (10ml)
13 14	<u>摂食嚥下リハビリテーション総論</u> ・摂食嚥下と加齢性変化、摂食嚥下障害のメカニズム ・摂食嚥下障害の評価とリハビリテーション	加藤 健吾	
15 16	<u>小児の摂食嚥下障害の特徴</u> ・リハビリテーションとハビリテーション ・動的嚥下障害と静的嚥下障害 ・神経（中枢を含む）筋系の障害	白石 成	
	<u>試験</u>	専任教員	

病院管理学～社会保険・請求事務・歯科マネージメント～

担 当 者	吉野 英司 医療法人社団 ヨシノデンタルクリニック 理事長 宮城県歯科医師会 後藤 良介 定禅寺デンタルクリニック 院長 宮城県歯科医師会 丸森 亮太郎 丸森歯科医院 院長 宮城県歯科医師会 西村 一将 光歯科 院長 宮城県歯科医師会	
単 位	時 間 数	履 修 時 期
1	15	3年後期
教 科 書	大阪府歯科保険医協会 歯科臨床・学術部 編：「デンタルスタッフのための の歯科保険診療ハンドブック 最新版（現時点では2017年版）」	
参 考 図 書	歯科保険点数早見表	
学 習 目 標	円滑な歯科医院業務に貢献できるよう、社会保険制度の仕組み及び保険請求 に関する基礎知識を修得する。	
学 習 方 略	講義	
学 習 評 価	筆記試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>社会保障制度、保険診療の仕組みについて</u>	吉野 英司	PC プロジェクター
2	<u>歯科保険診療の実際①</u> 保険請求事務及び歯科保険点数早見表の見方 保険医療機関の指導について	吉野 英司	PC プロジェクター
3	<u>歯科保険診療の実際②</u> 医学管理、処置及び保存治療一般	後藤 良介	PC プロジェクター
4	<u>歯科保険診療の実際③</u> 歯周治療及び歯周外科	後藤 良介	PC プロジェクター
5	<u>歯科保険診療の実際④</u> 外科一般	丸森 亮太郎	PC プロジェクター

6	<u>歯科保険診療の実際⑤</u> 歯冠修復及び欠損補綴(1)	丸森 亮太郎	PC プロジェクター
7	<u>歯科保険診療の実際⑥</u> 歯冠修復及び欠損補綴(2)	西村 一将	PC プロジェクター
8	<u>歯科保険診療の実際⑦</u> 在宅診療と介護	西村 一将	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	西村 一将	

総合歯学

単位	時間数	履修時期
5	104	3年後期

回数	科目名	担当講師
1	<u>解剖学</u>	畠山 雄次 東北大学大学院歯学研究科リハビリテーション歯学講座 口腔器官解剖学分野 教授
2	<u>組織・発生学</u>	細矢 明宏 東北大学大学院歯学研究科リハビリテーション歯学講座 顎口腔組織発生学分野 教授
3 4	<u>人体機能学（生理学）</u>	安藤 恵子 東北大学大学院歯学研究科 病態マネジメント歯学講座 口腔生理学分野 准教授
5	<u>生体物質・ 口腔の化学（生化学）</u>	土門 ひと美 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 口腔生化学分野 非常勤講師
6	<u>口腔解剖学</u>	畠山 雄次 東北大学大学院歯学研究科リハビリテーション歯学講座 口腔器官解剖学分野 教授
7 8	<u>病理学・口腔病理学</u>	佐々木 優 宮城高等歯科衛生士学院 学院長
9 10	<u>薬理学・歯科薬理学</u>	中村 卓史 東北大学大学院歯学研究科 病態マネジメント歯学講座 歯科薬理学分野 准教授
11 12	<u>微生物学・ 口腔微生物学</u>	黒石 智誠 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 口腔微生物・免疫学分野 講師
13 14	<u>口腔衛生</u>	小原 由紀 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任
15	<u>公衆歯科衛生・ 歯科衛生統計</u>	瀬名 浩太郎 東北大学大学院歯学研究科 地域共生社会歯学講座 予防歯科学分野 講師
16 17	<u>衛生学・公衆衛生学</u>	萩原 潤 宮城大学 看護学群 兼 基盤教育群 准教授
18 19	<u>衛生行政・社会福祉</u>	原田 真奈実 東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野 助教
20 21	<u>保存修復学</u>	鎌野 優弥 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 歯科保存学分野 講師

22 23	<u>歯内療法学</u>	向阪 幸彦	東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 歯内歯周治療学分野 助教
24 25	<u>歯周療法学 I</u>	梶川 哲宏	東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 歯内歯周治療学分野 講師
26	<u>歯科補綴学 1</u>	江草 宏	東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 分子・再生歯科補綴学分野 教授
27	<u>歯科補綴学 2</u>	小山 重人	東北大学病院 特殊診療施設 顎顔面再建治療部 准教授
28 29	<u>歯科矯正学</u>	金高 弘恭	東北大学大学院歯学研究科 地域共生社会歯学講座 顎口腔矯正学分野 教授
30 31	<u>口腔外科学</u>	江副 祐史	東北大学大学院歯学研究科 病態マネジメント歯学講座 顎顔面口腔再建外科学分野 助教
32 33	<u>小児歯科学</u>	但野 愛実	東北大学大学院歯学研究科 地域共生社会歯学講座 小児発達歯科学分野 助教
34 35	<u>障がい者歯科学</u>	長沼 由泰	東北大学病院 障がい者歯科治療部 助教
36 37	<u>高齢者歯科学</u>	山口 哲史	東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 加齢歯科学分野 准教授
38	<u>歯科口腔放射線学</u>	飯久保 正弘	東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 歯科医療情報学分野 教授
39	<u>栄養と人体(栄養指導)</u>	佐々木 裕子	白百合女子大学 人間学部 健康栄養学科 教授
40	<u>感染予防学</u>	小林 洋子	東北大学病院 特殊診療施設 歯科医療管理部 講師
41	<u>臨床検査法</u>	坪井 明人	東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 加齢歯科学分野 臨床教授
42 ～ 52	<u>課題演習・特別講義</u>		
	<u>卒業認定試験</u>		

研究Ⅲ

担 当 者	小原 由紀 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	30	3年前・後期	
教 科 書	指定なし		
参 考 図 書	日本歯科衛生学会監修：「歯科衛生研究の進め方 論文の書き方 第3版」 (医歯薬出版) 谷口英喜著：「はじめてとりくむ研究発表・論文作成」(医歯薬出版)		
一般目標 (G10)	科学的根拠に基づいた歯科衛生行動をとるために、歯科衛生、歯科臨床に関する課題を自ら見出し、研究を行い、論文として作成するための基本的な知識、技術、態度を修得する		
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究に関連した文献を収集する 2. 研究に必要なデータを収集し、分析する 3. 研究結果を考察する 4. 研究の計画から論文提出にいたるまで、効果的に指導者に相談する 		
学習方略 (LS)	講義・演習		
学習評価 (EV)	卒業論文		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1 2	<u>研究計画の立案</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
3 ～ 9	<u>文献検索</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
10	<u>中間発表</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
11 ～ 15	<u>論文作成</u>	小原 由紀	PC プロジェクター